

平成 29 年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書

平成 28 年度事業分

八戸市教育委員会



## — 目 次 —

<b>I</b>	<b>学識経験者からの総評</b>	2
<b>II</b>	<b>点検及び評価</b>	
1	点検及び評価概要	5
2	目標ごとの点検及び評価	6
3	事業担当課による点検及び評価	
	<b>【重点取組】</b>	
	目標ごとの点検及び評価	10
	<i>方向性 I</i> 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します	
	目標 1 就学前教育の充実	12
	目標 2 義務教育の充実	14
	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実	26
	<i>方向性 II</i> 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます	
	目標 4 文化財の保存と活用	29
	<i>方向性 III</i> 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います	
	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実	35
	<i>方向性 IV</i> 地域・社会ぐるみの子育てを支援します	
	目標 6 参加と連携の推進	38
	目標 7 社会教育・家庭教育の充実	39
	目標 8 青少年の健全育成	
	<i>方向性 V</i> あらゆる世代に多様な学習機会を提供します	
	目標 9 生涯学習の充実	41
	<b>【重点取組以外の取組】</b>	48
<b>III</b>	<b>参考資料</b>	
1	教育委員会の活動状況	81

## I 学識経験者からの総評

### 上條 秀信

平成 28 年度の 79 事業の全てが、明確な方向性のもと、着実に実施されたことを確認することができ、たいへん心強く思う。また、「配布」を「配付」と修正、「障害」を「障がい」と統一するなど、文言の丁寧な吟味にも意を用いており、八戸市教育委員会としての、一つ一つの取り組みに対する前向きできめ細やかな思いが十分に伝わってくる。

評価に関しては、「○→◎」となった「No.68 八戸市民大学講座」等の事業をはじめとして、<評価理由>が明確で分かりやすい項目がほとんどであった。一方で、「なぜ○なのか、なぜ◎ではないのか」と思った項目がない訳ではない（特に【重点取組以外の取組】）。もとより「○」でよしとするのか、あくまでも「◎」を目指すのかについては議論の余地がありそうであるが、いずれにしても、取組の「成果」だけでなく、「課題」「改善点」をも明記する等の工夫があれば、閲覧者にとって、より納得できる説明になると思う。

最後に、ともすれば「◎でなければ」と考えがちであるが、「○」は「概ね計画どおり達成（対応）できた」という立派な評価である。そのことに自信と誇りをもって、今後も「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」の具現化に向けて力強く取り組んでほしい。

### 前田 稔

「八戸市教育振興基本計画」における平成 28 年度分の 79 事業の点検評価が行われた。その結果、すべての事業が計画目標に対して「概ね達成できた」、あるいは「計画以上に達成できた」という評価となった。このことは、本市の就学前教育に始まり、義務教育、生涯教育の充実ぶりをうかがわせるものであり、誠に喜ばしい結果である。

とりわけ、「本のまち八戸」構想を支えている「ブックスタート事業」、「読み聞かせキッズブック事業」、「マイブック推進事業」、「ブックセンター事業」は、それぞれの年代を対象にし、全体で一本の柱として、関係課の協力のもとに運営されており、事業評価も「◎」であることから、本好きな市民育成は着実に浸透してきていると思われる。今後は図書館の利用促進に力を注いでいただき、「本のまち八戸」構想のさらなる発展を期待するものである。

また、今回「八戸市民大学講座」事業が「◎」の評価となった。長年の苦労がようやく実を結んだと思われるが、受講者を増やすためにも、市民大学の周知徹底を図るとともに、講師選定に工夫を凝らし、若者も大いに参加できる市民大学となることを期待する。

最後に、本市の特徴である地域密着型教育推進事業が、地域を巻き込んだ教育の実践として広がりつつあることは大変素晴らしいことであり、今後ますます発展していくことが期待される。

## 平間 恵美

平成 28 年度も「八戸市教育振興基本計画」に基づき取り組んできた全事業が、高い達成率で終えたことは、これまで着実に積み上げてこられた結果と受け止め、大変喜ばしく思います。また、それぞれの分野において、掲げた「目標」が、「数値指標」や「実施内容」でさらに分かりやすく示されていると思います。とはいえ、現場職員の方々の日々の取組や努力は、数値や活字では表せない部分も多分にあると思われます。動きの早い社会情勢の中で、子ども達を取り巻く環境も日々変化し、家庭教育、学校教育、また地域コミュニティの先行きが、不透明と感じている市民も少なくありません。その中で、八戸市の教育事業は、常に他分野にわたり、先駆けて事業展開を行い、先進的な事例と結果を出してきたことは言うまでもありません。しかし、それが事業のマンネリと現場の多忙に繋がっている可能性もあります。今後も新しい視点で、市民のニーズに合った事業を展開していくために、教育委員会の各課はもとより、福祉やまちづくりの他分野との連携を推進し、事業の効率化を図り、健全な教育と共生社会の実現を願います。



## II 点検及び評価

### 1 点検及び評価概要

#### (1) 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第97号）により、平成20年4月1日から、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすために、平成28年度の事業の点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

#### (2) 対象事業

##### ① 対象事業

本報告書の点検・評価は、八戸市教育振興基本計画に基づいて、平成28年度に教育委員会が実施した事務事業を対象としているものであり、基本計画策定後の新規事業も対象としています。

##### ② 対象事業数

区 分	事業数	
基本計画掲載事業	79 事業	… a
市長事務部局所管事業	4 事業	… b
評価対象外事業※	1 事業	… c
新規事業	5 事業	… d=e+f
平成 26 年度より実施している重点事業	3 事業	… e
平成 27 年度より実施している重点事業	2 事業	… f
点検・評価対象事業数	79 事業	… a-b-c+d

※評価対象外事業：事業の完了、見直し及び廃止により実施しなかった事業

評価の欄に「－」で表示

#### (3) 点検及び評価の方法

##### ① 各事業の評価

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の3段階で評価しました。

評価区分	評価基準
◎	計画以上に達成（対応）できた
○	概ね計画どおり達成（対応）できた
△	計画には及ばなかった

##### ② 各目標の評価

上記①の点検・評価に基づき、各目標について、次の4段階で評価しました。

評価区分	評 価 基 準
S	全て「○（概ね計画どおり達成）」以上で、かつ「◎（計画以上に達成）」が65%以上
A	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が90%以上
B	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が70%以上90%未満
C	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が70%未満

##### ③学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し、高い識見を有する学識経験者3名の方から、御意見をいただいております。

## 2 目標ごとの点検及び評価

### 方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

子どもたちが変化する社会・厳しい経済環境を生き抜き、豊かな人生を歩んでいくためには、確かな学力と、学力を活かすための豊かな心、学力や心を宿すための健やかな体の育成が大切です。就学前教育・義務教育・高等教育の各段階を通して、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成します。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.	取組名	評価
<b>目標1 就学前教育の充実</b>			<b>S</b>
①就学前教育内容の充実	重点 1	幼保小連携推進事業	◎
②就学前教育環境の整備・充実	2	私立幼稚園補助金	◎
	重点 3	ブックスタート事業 (※26)	◎
<b>目標2 義務教育の充実</b>			<b>A</b>
①教育内容・指導の充実	4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)	○
	重点 5	地域密着型教育推進事業	◎
	6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業	○
	7	学力実態調査	○
	重点 8	小・中学校ジョイントスクール推進事業	◎
	9	各種研修の実施	◎
	10	いじめの問題に対する取組	○
	11	学校飼育動物ネットワーク支援事業	◎
	12	いのちを育む教育アドバイザー事業	◎
	重点 13	教育相談・適応指導教室	◎
②特別支援教育の充実	重点 14	特別支援教育アシスト事業	◎
	重点 15	特別支援教育体制整備事業	◎
③健康に関する指導の充実	16	「新体力テスト」の結果の活用	○
	17	栄養教諭・学校栄養職員の活用	◎
	重点 18	学校保健活動の実施	◎
④教育環境の整備・充実	19	学校図書館を利活用した教育の充実	○
	重点 20	学校施設の整備	◎
	21	新学校給食センター建設事業	○
	重点 22	小・中学校適正配置事業	○
	重点 23	マイブック推進事業 (※26)	◎
⑤国際理解教育の推進	重点 24	西白山台小学校建設事業 (※26)	○
	25	青少年派遣交流事業	◎
⑥情報教育の推進	重点 26	国際理解教育・英語教育推進事業	○
	重点 27	教育の情報化推進事業	○
	28	教職員の ICT 活用指導力の育成	○
	29	情報モラル指導の充実	○
<b>目標3 高等学校教育・高等教育の充実</b>			<b>S</b>
①高等学校教育・高等教育の充実	重点 30	八戸市奨学金制度	◎
	31	私立高等学校助成補助金	◎
	重点 32	公開講座開催促進事業 (※27)	○

※26・・・平成 26 年度新規事業

※27・・・平成 27 年度新規事業



## 方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

郷土に対する誇りと愛着が、グローバル化する世界で活躍するための基盤となります。八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然を後世に継承し、市民が親しむことができるよう整備することにより、郷土八戸への愛情をはぐくみます。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価
<b>目標4 文化財の保存と活用</b>				<b>A</b>
①史跡・名勝・天然記念物などの 保存・活用	重点	33	是川縄文の里整備事業	○
	重点	34	北海道・北東北を中心とした 縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	○
		35	史跡等環境整備事業	○
		36	史跡根城の広場の活用事業	○
		37	名勝種差海岸の保護管理事業	○
		38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業	○
		39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業	○
②埋蔵文化財の記録保存		40	八戸市内遺跡発掘調査事業	◎
③民俗文化財の保存・継承	重点	41	無形民俗文化財後継者養成事業	○
		42	「民俗芸能のタベ」開催事業	○
		43	郷土芸能ビデオライブラリー事業	○
	重点	44	八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進 (※27)	◎
④有形文化財の保存・管理		45	指定文化財管理事業	○
⑤歴史記録の保存・活用		46	先人周知事業	○
		47	史跡等標示事業	○
	重点	48	古文書の整理・解読の推進	○
	重点	49	八戸市史編さん事業	◎
		50	研究紀要の発行	◎
		51	収蔵資料の活用	◎

※27…平成27年度新規事業

## 方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

大災害は、突然に訪れます。東日本大震災で傷ついた子どもたちのケアを続けると同時に、災害に備えて防災の心構えを養います。また、子どもや市民が安心して使用できる教育施設の整備を進めます。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価
<b>目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実</b>				<b>A</b>
①児童生徒の就学支援と 教育相談の充実		52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和	○
	重点	53	教育相談による心のケア	○
②教育施設の避難所機能の充実	重点	54	地区公民館の耐震化	○
		55	小・中学校における避難所機能の整備	○
③防災教育の推進	重点	56	小・中学校における防災教育の推進	◎

#### 方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

家庭における親と子の向き合い方の変化、学校における教員の多忙化と子どもとの向き合い方など、子どもを取り巻く環境は変化しています。学校・家庭・地域が一体となり、それぞれの力を活かした地域の子育てを支援します。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価
<b>目標6 参加と連携の推進</b>				<b>A</b>
①学校・家庭・地域の連携の推進	重点	57	地域密着型教育推進事業(再掲)	◎
		58	さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)	○
②教育資源の多様な活用		59	教育支援ボランティア推進事業	○
<b>目標7 社会教育・家庭教育の充実</b>				<b>A</b>
①社会教育施設等の整備・充実		60	公民館の施設整備	—
	重点	61	地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	○
		62	図書館施設の整備	○
②家庭・地域の教育力の充実	重点	63	家庭の教育力充実事業	○
<b>目標8 青少年の健全育成</b>				<b>S</b>
①青少年の健全育成活動の推進		64	少年相談センター活動	○
②青少年の交流の推進		65	南部藩ゆかりの都市との交流事業	◎
		66	青少年派遣交流事業(再掲)	◎
③青少年の地域活動の推進		67	青少年の地域活動の推進事業	◎

#### 方向性Ⅴ あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

少子高齢化の進行により、社会の活力低下が心配されています。増加する高齢者をはじめとした、あらゆる世代が生きがいを見つけ、かがやくことができるよう、さまざまな講座の開催や、社会教育施設を活かした多様な学習機会を提供します。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価
<b>目標9 生涯学習の充実</b>				<b>A</b>
①多様な学習機会の提供	重点	68	八戸市民大学講座	◎
		69	放送大学支援事業	○
		70	公民館講座の開催	○
		71	ICT 講習会の開催	○
②特色ある社会教育施設活動の充実	重点	72	学校出前講座の開催	◎
		73	児童科学館各種体験活動	◎
		74	「青少年のための科学の祭典」	○
	重点	75	図書館の利用促進	○
		76	「調べる学習コンクール」の開催	◎
		77	「市史講座」の開催	◎
	重点	78	是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業	◎
	重点	79	博物館・南郷歴史民俗資料館 各種展覧会・体験講座等開催事業	◎
	80	博物館資料の収集・公開	○	

# 【 重 点 取 組 】

目標ごとの点検及び評価一覧

取組の内容・実施状況・評価結果

【重点取組】 目標ごとの点検及び評価

方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標1 就学前教育の充実</b>			
①就学前教育内容の充実	1	幼保小連携推進事業	◎
②就学前教育環境の整備・充実	3	ブックスタート事業 (※26)	◎
<b>目標2 義務教育の充実</b>			
①教育内容・指導の充実	5	地域密着型教育推進事業	◎
	8	小・中学校ジョイントスクール推進事業	◎
	13	教育相談・適応指導教室	◎
②特別支援教育の充実	14	特別支援教育アシスト事業	◎
	15	特別支援教育体制整備事業	◎
③健康に関する指導の充実	18	学校保健活動の実施	◎
④教育環境の整備・充実	20	学校施設の整備	◎
	22	小・中学校適正配置事業	○
	23	マイブック推進事業 (※26)	◎
	24	西白山台小学校建設事業 (※26)	○
⑤国際理解教育の推進	26	国際理解教育・英語教育推進事業	○
⑥情報教育の推進	27	教育の情報化推進事業	○
<b>目標3 高等学校教育・高等教育の充実</b>			
①高等学校教育・高等教育の充実	30	八戸市奨学金制度	◎
	32	公開講座開催促進事業 (※27)	○

※26…平成 26 年度新規事業

※27…平成 27 年度新規事業

方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標4 文化財の保存と活用</b>			
①史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用	33	是川縄文の里整備事業	○
	34	北海道・北東北を中心とした 縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	○
③民俗文化財の保存・継承	41	無形民俗文化財後継者養成事業	○
	44	八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進(※27)	◎
⑤歴史記録の保存・活用	48	古文書の整理・解読の推進	○
	49	八戸市史編さん事業	◎

※27…平成 27 年度新規事業

方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実</b>			
①児童生徒の就学支援と教育相談の充実	53	教育相談による心のケア	○
②教育施設の避難所機能の充実	54	地区公民館の耐震化	○
③防災教育の推進	56	小・中学校における防災教育の推進	◎

方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標6 参加と連携の推進</b>			
①学校・家庭・地域の連携の推進	57	地域密着型教育推進事業(再掲)	◎
<b>目標7 社会教育・家庭教育の充実</b>			
①社会教育施設等の整備・充実	61	地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	○
②家庭・地域の教育力の充実	63	家庭の教育力充実事業	○

方向性Ⅴ あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標9 生涯学習の充実</b>			
①多様な学習機会の提供	68	八戸市民大学講座	◎
②特色ある社会教育施設活動の充実	72	学校出前講座の開催	◎
	75	図書館の利用促進	○
	78	是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業	◎
	79	博物館・南郷歴史民俗資料館 各種展覧会・体験講座等開催事業	◎

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	① 就学前教育内容の充実

所管課：教育指導課

取組	No.1	【重点取組】 幼保小連携推進事業
取組内容	市内全域の幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校(※1)の教職員が、子どもの発達や互いの教育内容についての連携を深め、互いに理解し尊重し合って、幼児児童の学びの連続性を図ります。 ※1 以下、「幼・保・こ・小」という。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者会議 2回</li> <li>研修講座 1回 (出席者 139人)</li> <li>地区会 小学校区ごとに実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者会議や研修講座等を開催し、「幼・保・こ・小」の管理職や指導者による情報交換を実施した。</li> <li>就学児保護者用パンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」を「幼・保・こ・小」を通して全ての保護者へ配付した。</li> <li>「幼保小連携推進事業報告書集」を作成し、全ての「幼・保・こ・小」に配付した。</li> <li>「幼保小連携研修講座」の全体会では外部講師を招聘して講演会を実施した。                      講師：宮城学院女子大学 教育学部                      児童教育専攻特任教授 渡辺 徹 氏                      演題：気になる子どもの支援と幼保・小の連携</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の「指導者の交流」「子どもの交流活動」が活発になり、学校関係者による園児の活動の参観や園児による学校施設や授業の見学等が増えている。</li> <li>保護者用パンフレットの配付及び、小学校におけるスタートカリキュラム(1年生入学当初にスムーズに学校生活に適応するための教科の進め方の工夫)の作成・活用の増加により、小学校入学時にスムーズに移行できるようになってきている。</li> <li>研修講座での講演会や分科会により、子どもの発達の状況やそれぞれの保育・教育内容についての理解が深まっている。</li> <li>報告書の配付により、連携にかかわる取組を共有することができた。</li> <li>研修講座のアンケートには、良好な意見が多く見受けられ、幼児児童の学びの連続性についての理解の促進につながっている。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も特別な支援を要する子どもたちへのかかわり等の共通の問題について研修を深めるなど、さらに「幼・保・こ・小」相互の連携を図っていく必要がある。</li> <li>就学先学区外の「幼・保・こ」の幼児も、就学先小学校での行事等に参加できるような取組について検討する必要がある。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	② 就学前教育環境の整備・充実

所管課：図書館

取組	No.3	【重点取組】ブックスタート事業
取組内容	<p>赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと心触れ合うひとときをもつ“きっかけ”をつくることを目的とし、総合健診センターで行われる股関節脱臼検診時に、対象の親子に読み聞かせのボランティアが絵本の読み聞かせをし、ブックスタートパックを手渡します。</p> <p>また、本のまち八戸の推進のため、幅広い人たちが本に親しむことができるよう、関係機関と連携し施策展開を行います。</p>	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間回数 49回</li> <li>対象親子数 1,846組 (内訳)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>出生 1,778人</li> <li>転入 68人</li> </ul> </li> <li>配付数 1,748組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックスタートの意義を説明し、親子を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本1冊、イラストアドバイス集1冊、図書館利用案内、絵本のリスト等をコットンバッグに入れて手渡す。</li> <li>対象は、八戸市民で生後90日～1歳未満までの乳児とその保護者</li> <li>配付数には、健康づくり推進課窓口配付分を含む。</li> </ul>

評価	年度			
	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>配付率が約95%と前年並みに推移した。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、配付する絵本やブックスタートパックを手渡す機会の見直しなどを行いながら、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと触れ合うひとときをもてるよう努める。</li> <li>赤ちゃん向けにブックスタート事業、3歳児向けに“読み聞かせ”キッズブック事業、小学生向けにマイブック推進事業、一般向けにブックセンター開設事業をそれぞれ実施することで、本に親しむ機会を提供するとともに、関係課で年2回程度意見交換をしながら、本でまちを盛り上げる「本のまち八戸」構想の推進を図る。</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.5	【重点取組】地域密着型教育推進事業
取組内容	児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、全小・中学校で地域密着型教育を推進し、運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとします。具体的には、保護者及び地域住民が学校運営に参画できる「地域学校連携協議会」を設置し、地域住民等と学校の協働による「開かれた学校づくり」を推進します。また、コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用できるよう、「地域学校連携協議会」の各組織の活性化に向けて支援します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同説明会 (1回 121名参加)</li> <li>・ 地域密着型教育研修会 (1回 67名参加)</li> <li>・ コーディネーター研修会 (1回 54名参加)</li> <li>・ 実践発表 (2回 3校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長または教頭とコーディネーターの合同の説明会を開催した。</li> <li>・ 「地域学校連携協議会」に各校担当主任指導主事等が出席し支援と助言を行った。</li> <li>・ 各校において、コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアと学校司書とが連携し、図書ボランティア講習会等を開催した。</li> <li>・ 実践発表会で柏崎小学校と江南小学校、教育の広場で白山台小学校のコーディネーターが実践発表を行った。</li> <li>・ 地域学校連携協議会委員や地域住民等を対象に発表会等の周知活動を開催することができた。</li> <li>・ 地域密着型教育研修会・コーディネーター研修会では、外部講師を招聘して講演会と演習を行った。 講師：神奈川県横浜市立東山田中学校学校運営協議会 会長 竹原和泉 氏</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同説明会やコーディネーター研修会、報告集の作成・配付等を通して、事務手続きや具体的な取組についての情報を共有できた。</li> <li>・ 「地域学校連携協議会」の話し合いが充実してきた。</li> <li>・ コーディネーターの複数配置を進めたことにより、学校支援ボランティアと学校司書との連携が図られ、学校支援ボランティア活動が充実してきた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・保護者・学校が連携・協働するしくみの定着と活動の充実のために、コーディネーターの配置の拡大が必要である。</li> <li>・ 学校支援ボランティアの確保のために、ボランティアの共有や地域住民への情報発信が必要である。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



I-2-①-取組8 【重点取組】小・中学校ジョイントスクール推進事業

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.8	【重点取組】小・中学校ジョイントスクール推進事業
取組内容	全中学校区の小・中学校が連携して「中1ギャップ」等を解消し、児童生徒の学びと成長・発達の連続性を保証し、「生きる力」の基盤となる学力である夢に向かって学ぶ意欲を高める確かな学力を保証することを目指します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践発表会 (1回2校 91名参加)</li> <li>中学校区ごとの研修会、情報交換会 (各地区 2～4回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校に、ジョイントスクール推進事業の構造図を配付した。</li> <li>実践計画書を作成し、実践報告書を地域密着型教育推進事業実践報告集と併せて作成した。</li> <li>ジョイントスクール実践研究発表会を開催した。</li> <li>中学校区ごとに研修会、授業参観、児童生徒の情報交換、合同講演会、生徒指導や学習等の部会ごとの話し合いを実施した。</li> <li>「実践研究発表会」で学力向上や基本的な生活習慣及び学習習慣の形成に関わる連携した取組の発表をした。</li> <li>学校訪問の際に、学力状況調査等の課題を共有し、学習面・学力面の連携について助言した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観や情報交換、講演会等により、小・中学校相互の児童生徒理解が進んでいる。</li> <li>学力状況についての情報交換等も増えており、9年間を通した学力向上の取組につながっている。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型教育推進事業との関連を図りながら家庭・地域社会との連携協力及び共に育てるための組織づくりに努める必要がある。</li> <li>質の高い授業づくりのために、学校間での互いの教育内容及び課題等について理解を深めるとともに、課題解決につながる授業交流や合同研修等の充実に図っていくことが望まれる。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.13	【重点取組】教育相談・適応指導教室
取組内容	不登校児童生徒への適応指導や学校復帰支援、不登校の未然防止等の支援をします。また、市民や教職員に対して、幼児児童生徒の教育に関する相談に対応します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談部延べ回数 2,259回</li> <li>適応指導教室通室生 47名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話相談、来所相談、訪問・巡回相談を実施した。</li> <li>こども支援センター適応指導教室として、適応指導部と教育相談部で連携しながら、不登校状態の児童生徒への支援を行った。</li> <li>集団活動の充実、個別の学習支援の充実を図った。</li> <li>不登校未然防止に対応して適応支援活動「キッズ・ジュニア」を実施した。</li> <li>保護者支援としてペアレントトレーニングを実施した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども支援センターの周知が図られ、相談延べ回数は昨年度より327回増加、約1.2倍となった。</li> <li>相談内容の多様化・複雑化に伴い、相談員2名で対応するなど相談体制を工夫した。</li> <li>適応指導教室通室の中学校3年生は、ほぼ全員が高校へ進学しており、日頃の適応指導や受検指導、面接練習の成果が見られた。</li> <li>中学校3年生以外の児童生徒も部分復帰し、学校とつながるケースが多く、復帰に向けた取組の成果が出てきている。</li> <li>適応支援活動「キッズ・ジュニア」等の活動経過を学校に報告し、情報を共有することにより、学校での集団活動参加が円滑に進んだ。</li> <li>月1回の事例検討会や研修会等への参加で、相談員・指導員それぞれのスキル向上を図ることができた。</li> <li>.</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数の増加、内容の多様化・複雑化、重度のケース増加、適応指導における個別対応ケースの増加などに対応するため、教育相談員及び適応指導教室指導員の資質の向上・体制の充実及び備品・教具等の充実を図る必要がある。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 拡充</li> <li><input type="checkbox"/> 継続</li> <li><input type="checkbox"/> 改善</li> <li><input type="checkbox"/> 完了</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> </ul>

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	② 特別支援教育の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.14	【重点取組】特別支援教育アシスト事業
取組内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に特別支援アシスタントを配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行います。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援アシスタント 配置人数 81人 配置校 小学校 39校 中学校 19校</li> <li>研修会 3回実施 参加者 8月 68人 1月 78人 3月 69人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援アシスタントの複数配置校を昨年度の12校から22校に増やした。</li> <li>多動傾向や介助を必要とするなど特別な配慮を要する児童生徒に対し、継続して個別支援を行った。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内支援体制を工夫し、効果的にアシスタントを活用する学校が増加した。</li> <li>継続的な個別対応により、集団生活に適応することができ、学級全体の学習保障にもつながった。</li> <li>アシスタントを複数配置することにより、安全確保ができ児童生徒の活動の幅が広がったことで、学習に対して成就感をもつことができるようになった。また、個別に声をかけてもらう機会が増え、学習への自信や意欲につながるケースがあった。</li> <li>研修内容の工夫や学校訪問時に助言指導を直接行うことで、アシスタントの資質の向上に努めることができた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別対応など、1日4時間程度の勤務では対応しきれないケースの増加に対応するために、体制の充実を図りながら、今後もアシスタントの資質向上に努めていく。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	② 特別支援教育の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.15	【重点取組】特別支援教育体制整備事業
取組内容	特別支援教育専門指導員を配置し、幼児児童生徒の検査を行ったり、保護者の相談に応じたりするとともに、校内の体制づくりや保護者・関係機関との連携について指導・助言を行うなど、特別支援教育に係る支援体制を充実させます。 教育・保健・福祉の連携による、子ども・教員・保護者を総合的に支援する体制づくりに努めます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	・ 専門指導部延べ回数 915 回 [内訳] ① 来所・電話相談 幼・保…180件 小学校…240件 中学校… 7件 その他… 1件 ② 巡回相談 幼・保…174件 小学校…135件 中学校… 46件 ③ 就学調査 幼・保… 58件 小学校… 59件 中学校… 15件	・ 専門指導部の延べ回数は 915 回と前年より 106 回減少した。 ・ 巡回相談等により、幼稚園・保育所(園)・認定こども園、小・中学校への特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への支援方法や特別支援教育の校内体制づくり等について指導・助言を行った。 ・ 健康づくり推進課の未就学児ことばの教室相談員と連携して、幼稚園等の巡回相談を行った。

評価	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
	○	○	◎	◎	
評価理由	・ 特別支援学級の視点を取り入れた授業づくりや学級づくりが各学校で進められ、障がいの理解や児童の状態像の見取りに基づいた確かな支援につながった。 ・ 未就学児童のニーズを早期に発見し、小学校と情報共有を図り、継続した支援となっていることが、小1 プロブレムの解消に役立っている。 ・ 就学調査についても年間の総件数 293 件の 4 割以上を担当するなど、大きな役割を果たしている。				
今後の方向性	・ 巡回相談の継続支援や特別支援学級担任支援を行うことで、児童生徒のニーズに応じたよりの確かな支援を進めることにつなげていきたい。 ・ より一層関係機関と連携を図り、早期発見・早期支援に努めることが必要である。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	③ 健康に関する指導の充実

所管課：学校教育課

取組	No.18	【重点取組】学校保健活動の実施
取組内容	各学校での児童生徒の健康に関する課題について、学校・家庭・地域など関係機関が連携して研究協議を行い、健康づくりを効果的に展開する学校保健活動の実施を推進します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	関係機関と連携した 学校保健活動を行った 学校数  60校／68校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問において、学校保健活動の実施状況を確認するとともに関係機関と連携した取組が行われるよう指導助言した。</li> <li>・学校保健活動を実施している学校では、学校医や保護者、地域の方々も交えながら講演、歯磨き指導等、さまざまな活動が行われた。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	◎	◎
評価理由	・学校医・学校歯科医・学校薬剤師からの専門的な指導や、講師として学校保健活動に参加する学校が増加したことから、学校保健活動の充実が図られた。				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校に対する学校保健活動の実施の働きかけを推進する。</li> <li>・学校医、学校歯科医、学校薬剤師の参加率を上げていくよう、引き続き、学校及び医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を図りながら進めていく。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育総務課

取組	No.20	【重点取組】学校施設の整備
取組内容	小・中学校の校舎や校庭などの教育施設で児童生徒が安全安心に過ごせるよう、危険な部分の改修や老朽化した部分を修理するなどの整備を行います。また、児童生徒数の変化に伴う設備規模の見直しや、省エネ機器の導入による省エネを進め、維持管理費の軽減を図ります。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模営繕工事等 25件</li> <li>小規模営繕工事、修繕 313件</li> </ul>	<p>学校施設の安全対策及び教育環境改善など、緊急性・重要性を勘案しながら実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模営繕工事… 5校 小学校 4校 中学校 1校</li> <li>防災機能強化事業(非構造部材の耐震化) … 16校 小学校 11校、 中学校 5校</li> <li>大規模改造事業(トイレ改修工事他)… 4校 小学校 2校、 中学校 2校</li> <li>小規模営繕工事… 123件 小学校 55件、 中学校 68件</li> <li>修繕… 190件 小学校 107件、 中学校 83件</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年行っている「学校施設整備箇所調査」と学校からの要望及び点検作業結果を取りまとめ、緊急性・重要性を勘案しながら優先度の高いものから順次対応した。</li> <li>学校施設的环境を整備し、児童生徒が安心安全な学校生活を過ごすことができるようになった。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、定期的な調査等を実施し早期発見・対応により学校施設の長寿命化を図るとともに、維持管理面の見直しを行い、効果的に省エネ化を実施していきたい。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：学校教育課

取組	No.22	【重点取組】小・中学校適正配置事業
取組内容	児童生徒の教育環境の充実を最大の目的として、通学区域や学区外通学許可基準の見直し、学校の統合や新設など、一律の基準で判断せず、それぞれの学校にとって最善の手法を検討・実施します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	開校準備委員会 4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年7月21日に策定した八戸市立小・中学校の適正配置に関する「基本方針」及び「検討課題」を踏まえて、検討着手スケジュールで「中期」に分類した検討課題の対象地域・学校に出向き、保護者、地域、学校の代表者と、それぞれの地域に応じた進め方を尊重しながら、話し合いを進めた。</li> <li>西白山台小学校の開校に向けて開校準備委員会等を開催した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		◎	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期検討課題について、保護者や地域の代表者と話し合いの場を持つことができた。</li> <li>西白山台小学校の開校に向け、校章を制定することができた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討着手スケジュールで「中期」に分類した検討課題の対象地域・学校に出向き、保護者、地域、学校の代表者と、それぞれの地域の実情を尊重し、十分な情報提供と丁寧な説明を行いながら話し合いを進めていきたい。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育指導課

取組	No.23	【重点取組】マイブック推進事業
取組内容	市内全小学校と特別支援学校小学部の児童にマイブッククーポンを配り、小学生が保護者とともに書店に出かけ自ら本を選び購入する体験を通して、読書に親しむ環境づくりを推進します。また、本のまち八戸の推進のため、幅広い人たちが本に親しむことができるよう、関係機関と連携し施策展開を行います。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用されたクーポンの割合 95.1%</li> <li>クーポンを使用した児童の割合 96.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人につき 2,000 円分 (500 円×4 枚) を配付した。</li> <li>マイブッククーポンの使い方が分かるようにブックガイドを配付した。</li> <li>マイブッククーポンで購入した本を学校での読書活動等に活用した。</li> <li>事業の実施状況について、児童及び保護者、各学校、参加書店に対してアンケート調査を行い、結果を公表した。</li> </ul>

評価	26 年度				27 年度				28 年度				29 年度			
	○				◎				◎							
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>配付されたクーポンのうち使用されたクーポンの枚数の割合は増加し、クーポンを 4 枚中 1 枚でも使用した児童の人数の割合は、前年度から 0.7%減ではあるが、クーポンの使用が定着してきている。</li> <li>活用後の感想には、本に親しみ興味をもつきっかけとなったことや読む本の幅が広がったことなどが多く書かれており、親子で本に親しむ環境づくりにつながっている。</li> <li>各校でも、クーポンを利用して購入した本の紹介や展示等の活動が増え、学校での読書活動の推進につながっている。</li> </ul>															
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの児童がブッククーポンを使用できるように、継続して保護者への周知を図るとともに、参加書店と連携して使用しやすい環境づくりにつなげていく必要がある。</li> <li>クーポンで購入した本を活用した各校での取組について共有し、子どもたちの読書環境づくりや読書意欲の向上に努める。</li> <li>乳幼児期から小学校就学後における「本」による心の成長の連続性を図るため、関係部署との連携に努める。</li> </ul>												<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止			



I-2-④ 取組 24 【重点取組】西白山台小学校建設事業

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育総務課

取組	No.24	【重点取組】西白山台小学校建設事業
取組内容	ニュータウンの開発に伴い、白山台小学校の児童数が年々増加しており、二度の校舎増築によっても教室不足を解消できない状況にあること、白山台地区における児童数は今後も増加する見込みであることから、児童の教育環境の充実を図るため、西白山台小学校を建設します。	

実施状況	数値指標	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業進捗率 (校舎・屋内運動場工事)</li> </ul> <p>平成 28 年度 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 10 月 一般競争入札により受注者を決定し着工した。</li> </ul> <p>平成 27 年 10 月 受注者決定 平成 29 年 3 月 校舎・屋内運動場完成 開校準備 平成 29 年 4 月 開校 (6 日開校式、7 日入学式)</p>

評価	26 年度				27 年度				28 年度				29 年度			
	○				○				○							
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注者決定が当初予定から一か月半遅れではあったが、校舎・屋内運動場については、計画どおり平成 28 年度内に完成した。</li> <li>平成 29 年 3 月に校舎と屋内運動場が完成し、事業開始当初から予定していた同年 4 月開校式の実施に至ったことで、入学予定の児童、保護者、学校関係者に資することができた。</li> </ul>															
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年 6 月までに校庭及び外構整備工事を確実に実施し、本来の教育施設として機能を充実させる。</li> </ul>												<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止			

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑤ 国際理解教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.26	【重点取組】国際理解教育・英語教育推進事業
取組内容	ALT(外国語指導助手)を小・中学校へ派遣し、小学校の外国語活動の授業や中学校の英語科の授業への補助、日本人教員に対する現職研修への補助、特別活動及び課外活動への協力を通して、小・中学生等への国際理解教育・英語教育を推進します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの配置(18名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18名のALTが18校の中学校をベーススクールとして、市内全小・中学校で外国語活動や外国語科等の授業の補助をした。</li> <li>・外国語教材作成、外国語スピーチコンテストへの協力をした。</li> <li>・学校行事や部活動等への参加・協力を行った。</li> <li>・外国語科担当教員等に対する現職研修の補助や語学に関する情報提供を行った。</li> <li>・公民館や児童館などの国際交流活動への協力をした。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの活用に向けてALT月例会で授業に関わる研修会を行うなど、ALTの資質向上に取り組み、小学校外国語活動・中学校における外国語科の授業でのALT活用を通じた国際理解教育・英語教育が積極的に推進されている。</li> <li>・各校からの国際理解教育・英語教育に関わる評価では、取組が十分だと評価した学校が79%であった。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの資質・指導力の向上を目指す取組を継続するとともに、教員とALTの授業力向上に資する取組の工夫に努める。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑥ 情報教育の推進

所管課：総合教育センター

取組	No.27	【重点取組】教育の情報化推進事業
取組内容	総合教育センターを核とした「八戸市教育情報ネットワークシステム」(HENS)及び校務支援システムの活用とともに、タブレット PC や電子黒板等新しい機器の活用を視野に入れた ICT 環境の整備・改善を通して、教育の情報化を推進します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校学習用タブレット新規導入 4校 164台</li> <li>・中学校電子黒板試験導入 5台</li> <li>・特別教室用コンピュータ更新 66台</li> <li>・西白山台小学校学習用コンピュータ・タブレット導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの本格運用を行った。</li> <li>・学校訪問等をとおして、授業で実物投影機・プロジェクターを積極的・効果的に活用するよう支援を行った。</li> <li>・HENS端末・実物投影機・プロジェクター・電子黒板・中学校学習用タブレット導入の計画を立てた。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システム導入後、研修等をとおしてシステムの周知と、各校での活用を図ることができた。</li> <li>・中学校学習用タブレットの新規導入と、電子黒板試験導入を行い、活用状況の確認や授業での活用における支援を行った。このことにより、ICTを活用した授業づくりの推進が図られた。</li> <li>・各小・中学校の授業において、よく分かる授業づくりに向け、実物投影機・プロジェクター・タブレット等のICT機器が日常的に活用されてきている。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット・コンピュータ機器等の更新及び校内LAN環境の改善やネットワークの強化等を計画的に進めるなど、ICT環境を整備・充実させていく必要がある。</li> <li>・学校現場のニーズを的確に把握し、教育の質の向上を図るための授業におけるICT（校務支援システム含む）の効果的な活用を推進する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：学校教育課

取組	No.30	【重点取組】八戸市奨学金制度
取組内容	八戸市出身の優秀な高校生・専門学校生・大学生で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金を貸与・給付し、人材の育成を図るため、修学の援助を行います。また、安定した奨学金制度を継続していくため、貸与した奨学金の回収にも努めます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	貸与実績 70,800,000円 (高校、高専、短大、大学生等 延べ人数180人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学機会の充実に資するため、市出身の優秀な学生で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与した。</li> <li>・平成27年度から償還義務のない給付型奨学金制度（予約採用のみ）を導入し、平成28年度に進学等の状況を確認し、奨学金の給付を実施した。</li> </ul>
	給付実績 3,840,000円 (高校、高専、大学生等 延べ人数13人)	
	奨学金償還金回収率 (現年分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未収金対策として、文書督促、電話督促等で回収率の向上に努めた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値(調定額) 67,786,228円</li> <li>・実績(収入済額) 63,756,738円</li> <li>・達成状況 94.0%</li> </ul>	

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学機会を求める学生・生徒等の経済的支援が図られる成果があった。</li> <li>・未収金対策として、文書督促、電話督促等を行った結果、達成状況が94.0%となった。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学機会を求める学生・生徒等の経済的支援をさらに拡充するため、引き続き、市ホームページで「奨学金制度拡充のため(奨学ゆめ基金への積立)」への寄付をお願いし、財源となる奨学ゆめ基金の安定・充実を図る。</li> <li>・未収金対策の強化を図る必要がある。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：社会教育課

取組	No.32	【重点取組】 公開講座開催促進事業
取組内容	地元高等教育機関（八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校）と連携し、公開講座の開催に必要な協力・支援を行うことにより、広く市民に学びの場を提供します。また、中心市街地で実施することで、にぎわいの創出にも寄与します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	開催回数 5回 参加者数 113人	① 平成28年10月22日（土）10：00～12：00 「住みたい家・住みたい街コンクール2016」 於：はっち2階 主催：八戸工業大学 共催：教育委員会 応募対象：小学校5・6年生 応募総数：100点 参加者数：45人 ・平成28年10月22日（土）～29日（土） 於：はっち3階（作品展示 全作品100点） ・平成28年11月7日（月）～14日（月） 於：公会堂1階（作品展示 優秀作品16点）  ② 平成28年11月2日（水）18：30～20：00 「2026年の学校～対話が織り成すソリューション～」 於：はっち1階 主催：八戸工業大学 共催：教育委員会 対象：一般（中学生以上） 参加者数：9人  ③ 平成28年11月23日（水・祝）14：00～16：00 「地域文化デザインシンポジウム 裂織2.0～南部裂織の過去・現在・未来～」 於：はっち1階 主催：八戸工業大学 共催：教育委員会 対象：一般（中学生以上） 参加者数：25人

		<p>④ 平成 28 年 11 月 27 日（日）13:00～15:00  「サイエンスサロン～光科学技術を生かして液晶ディスプレイを作る～」  於：八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ  主催：八戸工業大学 共催：教育委員会  対象：一般（高校生以上）  参加者数：3 人</p> <p>⑤ 平成 29 年 2 月 25 日（土）10:00～12:00  「留学生と遊ぼうー日本の玩具“おはじき”を使ったアジアの遊びー」  於：はっち5階  主催：教育委員会 共催：八戸工業高等専門学校  対象：小学生  参加者数：31 人</p>
--	--	--

自己評価			27 年度	28 年度	29 年度
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度より、大幅に講座の回数を増やすことができ、小学生から一般まで幅広く開催できたことが評価できる。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各高等教育機関等と連携し、新規の講座の企画や、各機関が単独で計画している講座を協力・支援することにより、中心市街地での開催回数の増加に努める。</li> <li>受講対象者に応じた開催日時・曜日の設定について検討する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：是川縄文館

取組	No.33	【重点取組】是川縄文の里整備事業
取組内容	是川遺跡の発掘成果をもとに、「縄文の里」を生涯学習及び観光・まちづくりの拠点として整備するとともに、是川遺跡や縄文文化に関する情報を発信します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得面積 11,934.25㎡</li> <li>整備検討委員会 2回</li> <li>懇談会 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備のための用地取得を実施した。</li> <li>史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会を設置し、整備基本計画策定のための会議を10月7日・2月15日に開催した。</li> <li>近隣町内組織・支援団体との懇談会を3月14日に開催し、意見交換を行った。</li> <li>縄文是川ボランティアとの懇談会を3月23日に開催し、意見交換を行い、連携強化を図った。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得を継続するとともに、史跡の保存と整備に向けた整備検討委員会の設置及び整備基本計画策定に着手し、本格的な整備を開始した。</li> <li>関連団体等との連携を図ったことにより整備事業が円滑に進められた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備に向けた用地取得を継続する。</li> <li>整備検討委員会を継続し、整備基本計画を策定する。</li> <li>関連団体との連携強化し、情報発信を継続する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ－４－①－取組 34 【重点取組】北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：是川縄文館・社会教育課

取組	No.34	【重点取組】北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進
取組内容	是川石器時代遺跡を含む、北海道・青森・岩手・秋田の4道県に所在する縄文時代の代表的な17の遺跡により、世界遺産の登録を目指します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議出席 15回</li> <li>・ パネル展 2回</li> <li>・ 講座 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化審議会において推薦の先送りが決定されたため、共同推進体制の一員として、課題解決へ向けた会議へ出席した。同体制において、推薦書素案の改訂及び準備状況報告書を作成し文化庁に提出した。</li> <li>・ 周知活動として是川縄文館分館及び八食センターで縄文遺跡群パネル展を開催した。</li> <li>・ 青森県立八戸水産高等学校にて縄文体感世界遺産講座を開催した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議等の取組により、準備状況報告書及び推薦書素案改訂版を提出し、推薦・登録へ向けた課題解決が図られた。</li> <li>・ 市民向けの各種周知活動により、世界遺産登録への機運醸成が図られた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同推進体制では、「直近」の機会に推薦を目指すこととしている。ユネスコへの推薦は準備が整った資産から行うとされているため、引き続き、示された課題に対して取り組み、推薦を目指す。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.41	【重点取組】無形民俗文化財後継者養成事業
取組内容	市内に今も残る伝統芸能は、それに携わる人々の努力とともに、小・中学校のクラブや部活動に取り上げられているものも多く、これらが連携して受け継がれています。こうした活動を続ける神楽などの保存団体に対し、用具の修理や後継者養成に要する経費の一部を補助することによって、無形民俗文化財の保存と伝承を図ります。	

実施状況	実績値等	実施内容
	交付実績 ・団体数 8件 ・交付金額 541,000円	・昭和54年度から市単独事業として実施。 ・無形民俗文化財保存団体に対し、用具修理や後継者養成等に要する経費を対象として補助金を交付した。 ・交付団体 八戸騎馬打毬会、鮫神楽保存会、龍神社法霊神楽保存会、白銀四頭権現神楽保存会、八戸藩伝神道無念流居合保存会、中野神楽保存会、大平大神楽、八戸三社大祭山車祭り行事保存会

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	・補助金交付により、後継者養成の一助となるとともに、用具の修理が進むなど、伝統的民俗芸能の保存・伝承に一定の効果があつた。				
今後の方向性	・各団体の活動規模にもよるが、補助限度額に満たない団体もみられるため、補助対象経費に関する事業者への説明を充実させ、補助金の有効活用を図る必要がある。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ-4-③-取組 44 【重点取組】八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.44	【重点取組】八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進
取組内容	八戸三社大祭の周知と保護を図るため、「山・鉾・屋台行事」の構成資産として、ユネスコ無形文化遺産登録（代表一覧表記載）の推進を行います。	

実施状況	実績値等	実施内容
	登録に関する事業 6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山車製作、お囃子、民俗芸能練習、祭り本番等の撮影調査。</li> <li>・登録決定日前後に企画展「山・鉾・屋台行事と八戸三社大祭」を開催。</li> <li>・登録決定日に登録記念セレモニーの実施。</li> <li>・登録決定周知のため、懸垂幕やバナーの設置、ホームページへの掲載。</li> <li>・登録記念事業実行委員会を設立し、登録記念講演会を開催。</li> <li>・記念誌『山・鉾・屋台行事と八戸三社大祭』の発行。</li> </ul>

自己評価				
	27年度	28年度	29年度	
	○	◎		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコ無形文化遺産登録に向けた活動を推進し、平成28年12月に登録を実現した。</li> <li>・登録に伴うセレモニーや記念講演会祝賀会をとどこおりなく実施し、企画展等各種周知活動により登録を広く周知することができた。</li> <li>・山車製作、お囃子の練習等の撮影調査を行って記念誌を発行したことにより、八戸三社大祭の保存伝承に資することができた。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコ無形文化遺産への登録を受けて事業は完了し、今後は、小学生向け解説書の作成等、八戸三社大祭ユネスコ無形文化遺産登録PR事業を実施する。</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：図書館

取組	No.48	【重点取組】古文書の整理・解読の推進
取組内容	八戸市の歴史の解明となる古文書を、良好な状態で整理・保存するとともに、市文化財に指定されている『八戸藩日記』の解読作業や『遠山家日記』の校正作業を推進し、市民が利用できるよう努めます。 ※『八戸藩日記』…1665(寛文5)年～1869(明治2)年の205年間にわたる八戸藩政の記録 ※『遠山家日記』…1792(寛政4)年～1919(大正8)年までの117年間にわたって八戸藩士の目を通して記された八戸藩政の動向や社会の動静の記録	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解読冊数 32冊</li> <li>・ 中性紙封筒へへの入替え作業 7,500点</li> <li>・ 古文書解読講習会 7回</li> <li>参加人数 延べ92人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八戸藩日記の解読作業を行った。</li> <li>・ 内訳 八戸藩勘定所日記10冊、八戸藩御用人所日記14冊、江戸用人所日記8冊</li> <li>・ 解読延べ冊数 507冊(八戸藩日記全冊数607冊)</li> <li>・ 定期点検を実施し、目録と現物の照合のほか、目録等の修正作業を行った。</li> <li>・ 資料を良好な状態に保つため中性紙封筒へへの入替え作業を行った(南部家文書ほか)。</li> <li>・ 初心者を対象に、古文書解読講習会を開催した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料を中性紙封筒へ入れ替えることで良好な状態を保つようにした。</li> <li>・ 熟練した解読員が高齢なこともあり、解読のペースは落ちたが、中断することなく作業が進められた。</li> </ul>				
	25年度 30冊	26年度 38冊	27年度 52冊(2,053,157字)	28年度 32冊(1,759,986字)	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解読を促進するためには、解読技術を持った人材の確保が必要であり、今後も古文書解読講習会を継続し、解読者の育成のきっかけとしたい。</li> <li>・ 原本を良好な状態で保存するため、中性紙保存箱や中性紙封筒へへの入替え並びに複写物の作成やデジタル化を推進していきたい。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：図書館

取組	No.49	【重点取組】八戸市史編さん事業
取組内容	八戸市の歴史に関する資料を収集し、市史の編さん作業を進めます。刊行終了後は、その成果の普及に努めるとともに、収集資料等の保存・公開を行います。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>書籍刊行数 1巻 『遠山家日記』</li> <li>古文書目録刊行 2冊</li> <li>市史講座の開催 8回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『遠山家日記』第5巻（天保12年～弘化4年）を刊行した。</li> <li>『八戸市史収集文書目録 第14集、第15集』を刊行し、収集資料の公開に努めた。</li> <li>「市史講座」を開催し、編さん事業の成果の普及と販売促進に努めた。</li> <li>遠山家日記が県重宝に指定されたことを受け、記念展示として、9月1日から9月15日まで市民に公開した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市史収集文書目録を2冊刊行し、収集資料の公開に努めた。</li> <li>今まで行われていなかった市史収集資料のくん蒸を行い、良好な保存に努めた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>『新編 八戸市史』の刊行終了に伴って市史編さん事業は終了したが、平成27年度より図書館歴史資料グループが、資料の保存に努めるとともに、市民の関心を高めるため、引き続き収集資料等の公開を進める。</li> <li>市制施行88周年記念行事として三浦哲郎資料展を開催し、今後も当市にゆかりのある先人資料の計画的な公開に努める。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	① 児童生徒の就学支援と教育相談の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.53	【重点取組】教育相談による心のケア
取組内容	震災によって子どもが受けた心の傷は、数年経ってから何らかの症状となって表れることもあります。災害によって不安定となった子どもの心のケアや予防活動を行います。また、今後の自然災害や緊急事態における子どもや保護者、教職員に対する心のケアの相談窓口としての対応に備えます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修講師派遣 小学校 2校 中学校 3校 計5校</li> <li>心のケア リーフレットを小・中学校へ配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心のケア研修支援事業 5月2日 白鷗小学校 拡大校内研修講師派遣 11月1日 明治小学校 拡大校内研修講師派遣 1月11日 三条中学校 拡大校内研修講師派遣 2月9日 下長中学校・小中野中学校拡大校内研修講師派遣</li> <li>小・中学校へ震災に関わる心のケア リーフレットを配付した。</li> <li>教職員に対するメンタルヘルス(カウンセリング)を実施した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学教授・臨床心理士による演習を交えた講演を行い、児童生徒の心のケアについて、見取りや接し方について学ぶことができた。</li> <li>リーフレット配付により気づきを促し、来所相談にきた保護者に対応することができた。また、教職員のメンタルヘルスに早期対応ができた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学教授・臨床心理士による拡大校内研修への支援、教職員のメンタルヘルス、心のケアリーフレット配付について、今後も継続していく。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	② 教育施設の避難所機能の充実

所管課：社会教育課

取組	No.54	【重点取組】地区公民館の耐震化
取組内容	災害時の指定避難所、防災拠点である地区公民館の耐震化は非常に重要であることから、昭和56年以前に建設された公民館について、国の交付金等を活用して耐震診断と耐震改修の促進に取り組みます。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替が必要な館 4館 (館, 江陽, 根城, 是川)</li> <li>・28年度に建替した館 3館 (館, 江陽, 根城)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館、江陽公民館は、平成28年7月末に、根城公民館は平成29年3月に建替を完了した。</li> <li>・是川公民館は、平成28年度に建設用地造成工事着工。(平成29年6月までに完了予定)</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館公民館と江陽公民館は、平成28年7月末に完成した。</li> <li>・根城公民館は、29年3月末に完成した。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根城公民館については、平成29年度末の旧公民館解体工事及び駐車場整備工事完了へ向けて取り組んでいく。</li> <li>・是川公民館については、平成29年度建設工事完了、平成30年度の旧公民館解体工事及び駐車場整備工事完了へ向けて取り組んでいく。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅲ－５－③－取組 56 【重点取組】小・中学校における防災教育の推進

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	③ 防災教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.56	【重点取組】小・中学校における防災教育の推進
取組内容	東日本大震災での多くの教訓を生かし、これまで以上に児童生徒一人一人が自分の命を自ら守る力を養う教育に力を入れていく必要がある。そこで、各小・中学校が開催する防災教室に対し、講師(防災士、消防士、高等教育教員、危機管理職員等)を派遣し、災害時に児童生徒が自らの命を守ろうとするための適切な行動ができるように、自らの危険を予測し、危険を回避しようという態度や能力の育成を支援します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教室実施回数 (8回)</li> <li>小学校 (7回)</li> <li>中学校 (1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災士、防災危機管理課職員による防災教室を実施した。</li> <li>平成28年4月に配付した「八戸版防災ノート(改訂版)」の見直しを行い、「防災ノート」(二訂版)を作成した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教室実施校の事後アンケートでみると99%の児童生徒が、防災に対する取組の大切さを感じており、防災意識の高まりにつながっている。</li> <li>防災の学習の副読本として活用できるよう、学校現場の授業実践や活用の意見をもとに、「防災ノート」(二訂版)を作成することができた。</li> <li>行事や授業の中での「防災ノート」の活用が増えており、災害時の具体的行動や危険を回避する能力の育成につながっている。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災ノート」(二訂版)をもとに、教科等研究委員会を中心に家庭や地域社会と連携した防災意識の向上につながる活用方法等を検討する必要がある。</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	① 学校・家庭・地域の連携の推進

所管課：教育指導課

取組	No.57	【重点取組】地域密着型教育推進事業(再掲)
取組内容	児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、全小・中学校で地域密着型教育を推進し、運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとします。具体的には、保護者及び地域住民が学校運営に参画できる「地域学校連携協議会」を設置し、地域住民等と学校の協働による「開かれた学校づくり」を推進します。また、コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用できるよう、「地域学校連携協議会」の各組織の活性化に向けて支援します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同説明会 (1回 121名参加)</li> <li>・ 地域密着型教育研修会 (1回 67名参加)</li> <li>・ コーディネーター研修会 (1回 54名参加)</li> <li>・ 実践発表 (2回 3校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長または教頭とコーディネーターの合同の説明会を開催した。</li> <li>・ 「地域学校連携協議会」に各校担当主任指導主事等が出席し支援と助言を行った。</li> <li>・ 各校において、コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアと学校司書とが連携し、図書ボランティア講習会等を開催した。</li> <li>・ 実践発表会で柏崎小学校と江南小学校、教育の広場で白山台小学校のコーディネーターが実践発表を行った。</li> <li>・ 地域学校連携協議会委員や地域住民等を対象に発表会等の周知活動を開催することができた。</li> <li>・ 地域密着型教育研修会・コーディネーター研修会では、外部講師を招聘して講演会と演習を行った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">講師: 神奈川県横浜市立東山田中学校学校運営協議会 会長 竹原和泉 氏</p>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同説明会やコーディネーター研修会、報告集の作成・配付等を通して、事務手続きや具体的な取組についての情報を共有できた。</li> <li>・ 「地域学校連携協議会」の話し合いが充実してきた。</li> <li>・ コーディネーターの複数配置を進めたことにより、学校支援ボランティアと学校司書との連携が図られ、学校支援ボランティア活動が充実してきた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・保護者・学校が連携・協働するしくみの定着と活動の充実のために、コーディネーターの配置の拡大が必要である。</li> <li>・ 学校支援ボランティアの確保のために、ボランティアの共有や地域住民への情報発信が必要である。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



IV-7-①-取組 61 【重点取組】地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	① 社会教育施設等の整備・充実

所管課：社会教育課

取組	No.61	<b>【重点取組】地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進</b>
取組内容	<p>公民館は、地域住民へ充実した学習機会を提供するとともに、住民のまちづくりや地域づくり活動を推進するため、施設を会合や準備作業等の場として積極的に提供します。</p> <p>また、職員は地域の実情に合わせ、地域づくりに取り組む人材の育成や団体の組織化などを柔軟に支援します。</p>	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館件数 1,378 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会などの地域の団体への貸館</li> <li>地域づくり支援用パソコンの貸出</li> <li>地域づくり団体への複写機・輪転機の使用料の減免 (平成27年度より)</li> </ul>

評価	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
		○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくりに取り組む支援の具体策として、複写機及び輪転機を無料で利用できるようになったため、住民のまちづくり活動・地域づくり活動の活性化に寄与している。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会や地域づくり団体への貸館の推進や、地域づくりに取り組む支援の具体策として、複写機・輪転機の無料使用を継続するとともに、それらの団体が行う人材の発掘や育成を、積極的に支援する必要がある。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	② 家庭・地域の教育力の充実

所管課：社会教育課・総合教育センター・図書館・博物館

取組	No.63	【重点取組】家庭の教育力充実事業
取組内容	家庭教育や子育てに関する専門家を講師に招き、教育関係者や子育て中の保護者を対象に家庭教育研修会を開催します。また、幼稚園・保育所(園)・小・中学校及びPTAを実施主体として、家庭教育に関する講座「子育て・親育ち講座」を実施し、家庭における教育力の充実に図ります。さらに、児童科学館・公民館・図書館・博物館においても、子育てに関する学級や、親子で学習する講座など、各施設の特性を生かした講座を開催します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	講座等開催回数 <b>【社会教育課】</b> 家庭教育研修会 3回 (1,400人参加) 子育て・親育ち講座 16回 (18小・中学校) <b>【児童科学館】</b> 9回 (422人参加) <b>【図書館】</b> 30回 (333人参加) <b>【博物館】</b> 9回 (261人参加)	<b>【社会教育課】</b> ・学校関係者、保護者を対象に家庭教育研修会を開催した。 ・学校、幼稚園及び保育園を実施主体とし、子育て・親育ち講座を開催した。 <b>【児童科学館】</b> ・保護者を対象に映像を利用した学習会や講師を招いての学習会などの「映像利用学習会」を開催した。 <b>【図書館】</b> ・「調べる学習講座」「調べる学習相談会」「ちいさなこどものためのわらべうたと絵本の会」を開催した。 ・南郷図書館では「NAN号てんもん教室」「調べる学習講座」「おひざにだっこ」を開催した。 <b>【博物館】</b> 「折り紙かぶと」教室などを開催した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の講座との併催や、託児室を開設するなど、保護者が参加しやすい環境づくりを行った。</li> <li>各施設で開催することにより、家庭の教育力の大切さについて、広く周知することができた。</li> <li>親子で参加できる講座では、親子で一緒に学ぶ楽しさを感じることやスキンシップを図られるよう内容を工夫した。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の特性を活かし、多くの人が興味を持ちやすい講座等とするとともに、開催場所・時間を工夫する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課

取組	No.68	【重点取組】八戸市民大学講座
取組内容	市民の生涯学習の場として、各分野における専門家や第一人者、八戸市に縁のある方などを講師に迎え、変化する社会の動きに興味・関心をもち、豊かな教養を身に付けられるような講座を開設します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者数 7,592人</li> <li>修了者数 135人</li> </ul>	<p>前期9講義、後期9講義、全18講義を開催した。</p> <p>修了者は、全講座のうち2/3（12回）以上受講した者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者を対象としたアンケート調査を実施 回答者数 515人（男221人／女290人／無記入4人）</li> <li>市民を対象とした無作為抽出アンケートを実施 配付数 1,000人 回収数 388件 回収率 38.8% （男 180人／女 207人／無回答 1人）</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の受講者数は6,526人だったが、28年度は7,592人であった。</li> <li>受講者アンケートによる満足度は満足39.61%、まあまあ満足29.90%、普通19.22%、やや不満1.91%、不満0.78%（無記入8.54%）となっており、受講者の年齢層に偏りが見られるものの、幅広い年齢層の方が受講し、概ね高評価と考える。</li> <li>また、受講者アンケートだけでなく、市民を対象とした無作為抽出アンケートを実施したことにより、市民大学講座を聴講したことがないという市民からの意見等も得ることができた。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生涯学習の一環として開設している市民大学講座をより充実させるため、引き続き、社会の動向に対して興味・関心を養えるような講座の開設に努める。</li> <li>講演日時の設定、講師選定を工夫し、若い世代が参加しやすい講座の開設につなげる。</li> <li>今後も、受講者アンケートを実施するなど、受講者の希望に沿った講座内容、実施方法の見直し等を検討して実施していく。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：総合教育センター・図書館・是川縄文館・博物館

取組	No.72	【重点取組】学校出前講座の開催
取組内容	<p>【児童科学館】小・中学校を会場として科学実験や天文教室を行い、子どもたちが理科の面白さに触れられるよう支援します。</p> <p>【図書館】図書に関する理解や関心を深めてもらえるよう、職員が小・中学校へ出向き、教諭・ボランティア等を対象に、学校図書館の図書の整理や読み聞かせの仕方などについて講座を開催します。</p> <p>【是川縄文館・博物館】学芸員やボランティアが地域の文化財を生かした講座を開催し、郷土の歴史学習・体験学習を支援します。</p>	

	実績値等	実施内容
実施状況	出前講座開催回数 ・児童科学館 30回 ・図書館 2回 ・是川縄文館 3回 ・博物館 6回 ・歴史民俗資料館 1回	<p>【児童科学館】</p> キッズ工房（工作体験・科学実験）、出前授業、移動天文教室を実施。 <p>【図書館】</p> 学校図書館で、学校の希望する内容について講座を開催し、助言や情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問校 小学校 1校 中学校 1校</li> <li>・講座内容 読み聞かせの仕方、展示の仕方</li> </ul> <p>【是川縄文館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問校 小学校 2校、合同開催1回（是川小・是川中）</li> <li>・講座内容 縄文土器作り等・講話、製作品野焼き指導</li> </ul> <p>【博物館・南郷歴史民俗資料館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問校 小学校 7校</li> <li>・講座内容 「脱穀体験」「昔の暮らし」</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園や小・中学校等からの依頼により、各施設の特色を活かした内容の講座を開催することができた。</li> <li>・ 子どもや各団体の参加者が関心を持ち、理解を深められるよう、体験型の学習内容にするなど工夫した。</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育と連携し、小・中学校のニーズに応じた体験活動の検討に努めながら継続していく。</li> <li>・ 各学校への周知・広報活動を進め、利用校拡充に努める。</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：図書館

取組	No.75	【重点取組】図書館の利用促進
取組内容	市民の読書要求・調査研究を支援するため、子どもから大人まで、それぞれの世代が求める多種多様な資料の収集と広報活動の充実を図り、図書館の利用促進に努めます。また、図書館本館・南郷図書館・図書情報センターの相互利用や、移動図書館の巡回、分室の運営などにより、市民が利用しやすい図書館づくりに努めます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入 14,486冊</li> <li>・3館での貸出 786,704冊</li> <li>・移動図書館による貸出 27,058冊</li> <li>・6分室での貸出 18,402冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の要望や社会的動向に配慮しながら、各分野にわたる資料を幅広く収集した。</li> <li>・移動図書館車により、毎月1回市内10コース50箇所を巡回し、貸出等を行った。</li> <li>・建替えにより28年度中に再開した館分室を含む6分室において、地域ボランティアにより、毎週1～2回、貸出等を行った。</li> <li>・本館・南郷図書館・図書情報センターの3館は、どの館の図書でも貸出・返却ができることを、ホームページや館内カウンターで周知し、相互利用の促進に努めた。</li> <li>・季節や行事に合わせた図書の展示、本と雑誌のリサイクルフェアなど、資料を活用した各種イベントを企画・開催した。</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集においては、利用者ニーズを踏まえながら、あらゆる世代が求める資料を提供できるよう努めたが、3館での貸出冊数は、前年度比で約12,000冊減と伸び悩んだ。</li> <li>・本館・分館の相互利用、分室や移動図書館の運営により、広域的な利用ができるよう努めた。</li> <li>・移動図書館の巡回コースの見直しを行った。</li> <li>・</li> </ul>				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が古く資料的価値がなくなったもの、利用が低下し同じ本が複数あるもの等の除籍を進め、資料の質を高めていきたい。</li> <li>・利用者の増加を図るため、所蔵資料のPRイベントの企画、利用者サービスの内容の充実に努めたい。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：是川縄文館

取組	No.78	【重点取組】是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業
取組内容	是川遺跡に関連する各種特別展、企画展を開催します。また、考古学講座等の講座やボランティア養成講座を開催し、体験講座等にボランティアを活用します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	特別展・企画展 ・開催回数 4回 ・来館者 15,634人  教育普及事業 ・開催回数 全 215回 ・参加者 6,273人	特別展・企画展 ・「掘り day はちのへ-平成 28 年度発掘資料展」 ・「山の縄文世界-中部高地の縄文時代-」 ・「馬淵川流域の縄文時代」 ・パネル展 「伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 Vol.1.2-」  教育普及事業 ・講座 32回 ・平成 28 年度遺跡発掘調査報告会 1回 ・遺跡発掘調査現地説明会 2回 ・土曜日体験教室 11回 ・縄文体験コーナー56回 ・グループ・団体の体験学習 93回 ・企画展・特別展ギャラリートーク 19回

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	◎	◎	◎
評価理由	・館外資料を借用展示する特別展・企画展の開催により、縄文文化の素晴らしさや、八戸地域の歴史についての興味感心が深められた。 ・特別展・企画展イベントの充実により、生涯学習やボランティア活動の機会拡充が図られた。				
今後の方向性	・特別展・企画展、考古学講座は、今後も是川遺跡や縄文文化、埋蔵文化財への関心を高める内容を企画する。 ・体験教室等も、資料内容を更新し、事業内容のさらなる充実に努め、各事業のより一層の広報活動を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：博物館

取組	No.79	【重点取組】 博物館・南郷歴史民俗資料館 各種展覧会・体験講座等開催事業
取組内容	歴史・民俗の各分野を紹介する特別展、企画展を開催します。また、博物館クラブ等の体験講座や講演会、根城史跡ボランティアガイド養成講座を開催します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<p>特別展・企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館 9回開催 入館者数計 17,436人</li> <li>・南郷歴史民俗資料館 2回開催 入館者数計 1,918人</li> </ul> <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館 30回開催</li> <li>・南郷歴史民俗資料館 8回開催</li> </ul>	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展・企画展 特別展(かっぱ展、根城のお殿様の手紙) 企画展(新収蔵資料展、八戸の災害展、根城・百名城選定10周年ミニパネル展、山・鉾・屋台行事と八戸三社大祭、えと展、えんぶり展、ひな人形展)</li> <li>・教育普及事業 ・博物館クラブ等の体験講座 10回開催 ・講演会 8回開催 ・ギャラリートーク 5回開催 ・館外フィールドワーク 3回開催 ・根城史跡ボランティアガイド養成講座 4回開催</li> </ul> <p>【南郷歴史民俗資料館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展 ちよっと昔のゲームたち、なつかしの絵はがき展</li> <li>・民俗講座 8回開催</li> </ul>

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	・特別展・企画展を開催する上で、子どもから大人まで幅広い層が関心を持てる内容にしたことや、展示方法を工夫したことにより、入館者が28年度より増加した。				
今後の方向性	・入館者増を図るため、市民のニーズに応じた展覧会・体験講座等の開催に努める必要がある。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止





## 【重点取組以外の取組】

目標ごとの点検及び評価一覧

取組の概要・実施状況・評価結果

【重点取組以外の取組】 目標ごとの点検及び評価

方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標1 就学前教育の充実</b>			
②就学前教育環境の整備・充実	2	私立幼稚園補助金	◎
<b>目標2 義務教育の充実</b>			
①教育内容・指導の充実	4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)	○
	6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業	○
	7	学力実態調査	○
	9	各種研修の実施	◎
	10	いじめの問題に対する取組	○
	11	学校飼育動物ネットワーク支援事業	◎
	12	いのちを育む教育アドバイザー事業	◎
③健康に関する指導の充実	16	「新体力テスト」の結果の活用	○
	17	栄養教諭・学校栄養職員の活用	◎
④教育環境の整備・充実	19	学校図書館を利活用した教育の充実	○
	21	新学校給食センター建設事業	○
⑤国際理解教育の推進	25	青少年派遣交流事業	◎
⑥情報教育の推進	28	教職員のICT活用指導力の育成	○
	29	情報モラル指導の充実	○
<b>目標3 高等学校教育・高等教育の充実</b>			
①高等学校教育・高等教育の充実	31	私立高等学校助成補助金	◎

方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標4 文化財の保存と活用</b>			
①史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用	35	史跡等環境整備事業	○
	36	史跡根城の広場の活用事業	○
	37	名勝種差海岸の保護管理事業	○
	38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業	○
	39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業	○
②埋蔵文化財の記録保存	40	八戸市内遺跡発掘調査事業	◎
③民俗文化財の保存・継承	42	「民俗芸能の夕べ」開催事業	○
	43	郷土芸能ビデオライブラリー事業	○
④有形文化財の保存・管理	45	指定文化財管理事業	○
⑤歴史記録の保存・活用	46	先人周知事業	○
	47	史跡等標示事業	○
	50	研究紀要の発行	◎
	51	収蔵資料の活用	◎

方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実</b>			
①児童生徒の就学支援と教育相談の充実	52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和	○
②教育施設の避難所機能の充実	55	小・中学校における避難所機能の整備	○

方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標6 参加と連携の推進</b>			
①学校・家庭・地域の連携の推進	58	さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)	○
②教育資源の多様な活用	59	教育支援ボランティア推進事業	○
<b>目標7 社会教育・家庭教育の充実</b>			
①社会教育施設等の整備・充実	60	公民館の施設整備	—
	62	図書館施設の整備	○
<b>目標8 青少年の健全育成</b>			
①青少年の健全育成活動の推進	64	少年相談センター活動	○
②青少年の交流の推進	65	南部藩ゆかりの都市との交流事業	◎
	66	青少年派遣交流事業(再掲)	◎
③青少年の地域活動の推進	67	青少年の地域活動の推進事業	◎

方向性Ⅴ あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
<b>目標9 生涯学習の充実</b>			
①多様な学習機会の提供	69	放送大学支援事業	○
	70	公民館講座の開催	○
	71	ICT講習会の開催	○
②特色ある社会教育施設活動の充実	73	児童科学館各種体験活動	◎
	74	「青少年のための科学の祭典」	○
	76	「調べる学習コンクール」の開催	◎
	77	「市史講座」の開催	◎
	80	博物館資料の収集・公開	○

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	② 就学前教育環境の整備・充実

所管課：学校教育課

取組	No.2	私立幼稚園補助金				
取組概要	市内の学校法人が設置する私立幼稚園及び認定こども園に対して、教材・教育備品の整備及び施設・設備の整備等に要する費用を助成し、幼児教育の振興と充実を図ります。					
実施状況	・ 交付申請のあった20園に対し、9,358,086円を交付した。					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	◎	◎	◎	◎		
評価理由	・ 昭和58年度から市単独事業として実施し、教育環境の整備・充実が図られ、本市の幼児教育の振興に役立っている。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)			
取組概要	<p>計画訪問は、『わかった！できた！身についた！』が実感できる質の高い授業づくりとそれを支える教師力・学校力の強化のための取組状況の把握と授業改善・授業力向上への指導・支援を目的として、市内全小・中学校に対して年1回行います。</p> <p>要請訪問は、教師の指導力向上と校内研究推進を目的として、集中授業や一般研修等について学校の要請に応じて行います。</p>				
実施状況	<p>計画訪問（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営の説明に関する協議、授業参観と指導・助言等を行った。</li> </ul> <p>要請訪問（63回 小学校41回、中学校21回、小中学校1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中授業を参観し、協議会で指導・助言を行った。</li> <li>・一般研修として、情報モラルや道徳、特別支援教育等について実施した。（小学校21回、中学校3回、小中連携3回）</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<p>・校内研究会において、ワークショップ型(全員参加型)の協議を取り入れる学校が増えるなど、校内研究が推進されてきている。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業			
取組概要	<p>「地域の子どもは地域ではぐくむ」という視点で、学校・家庭・地域社会が連携し、中学校2年生を対象として、地域の事業所における3～5日間の職場体験活動を通して、望ましい勤労観及び職業観を育成します。</p>				
実施状況	<p>・中学校2年生を対象に、地域の事業所で職場体験を行った。</p>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<p>・キャリア教育の一環として取り組むことができた。</p> <p>・各学校の事後アンケート結果から、望ましい勤労観及び職業観とともに、自己有用感（自分は役立っているという気持ち）の高揚が見られた。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.7	学力実態調査			
取組概要	小学校5・6年生児童と全中学校生徒の学力を把握し、学校教育に対する適切な指導・支援を推進するとともに、関係諸事業に活用しています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月中に学力調査(NRT)を実施した。</li> <li>・ 6月下旬までに、小・中学校へ自校及び市の結果を配布し、各校で分析・考察及び指導の改善に活用した。</li> <li>・ 学校訪問で各校の活用状況を把握し、指導・支援を行った。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中学校において、児童生徒の学力及び生活や学習の状況を把握することで、指導の改善に役立っている。</li> <li>・ 学校訪問等での助言をもとに、小・中学校で連携した分析や活用等につながっている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：総合教育センター

取組	No.9	各種研修の実施			
取組概要	教員の授業力・指導力向上のための講座や、教育の情報化、特別支援教育に対する講座など、教職員の資質向上、市の教育課題や今日的な課題に対応するための各種研修を実施します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職務・準職務研修講座 16講座</li> <li>・ 選択研修講座               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業力・指導力アップ講座 9講座</li> <li>・ 特別研修講座 10講座</li> <li>・ 経営力・教師力アップ講座 3講座</li> <li>・ 市民教育公開講座 5講座</li> </ul> </li> <li>・ 受講者数は、2,535人(平成27年度 2,678人)</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度から講座内容を吟味し精選して実施できた。</li> <li>・ 受講者アンケートでは、9割が「研修が自分の課題解決となった」と回答している。</li> <li>・ 中核市移行に伴い、市内教職員の新たな研修体系を構築し、実施に向け準備を進めた。</li> </ul>				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.10	いじめの問題に対する取組			
取組概要	いじめ問題に児童生徒が主体的に取り組めるよう、小学生対象の「いじめ問題等に関する対話集会」と中学生対象の「生徒会交歓会」を行い、自らいじめ等の問題について話し合い、いじめ等の未然防止のためにどのような活動をすればよいかを考えることで、思いやりあふれる児童生徒の育成を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月に「いじめ問題等に関する対話集会」を開催し、いじめ根絶宣言の唱和、児童による話し合いを行った。(各小学校から2名ずつ参加)</li> <li>・ 各小学校では参加した児童が中心となり、いじめ防止に向け「いじめしま宣言」などの様々な取組を展開した。</li> <li>・ 中学校では、生徒会交歓会において、インターネットを介したいじめの問題を取り上げ、インターネットの利用や言葉のやりとりについて話し合った。また、各校のいじめ問題への取組や生徒同士の絆を深める取組について意見交換を行った。</li> <li>・ 各校で生徒会役員が中心となり「いじめ根絶宣言」の唱和を行った。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめ問題等に関する対話集会」では、「ストップいじめ笑顔のために」のテーマで分科会、全体会が行われ、活発な意見が出され有意義な集会となった。</li> <li>・ 生徒会交歓会分科会では、インターネットの適切な利用と仲間づくりや絆づくりについて意見交換がなされ、有意義な話し合いがなされた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.11	学校飼育動物ネットワーク支援事業			
取組概要	小動物との触れ合いを通して、児童に豊かな心(思いやりの心、生物愛護・生命尊重の態度等)を育むために、学校飼育動物の飼育管理等について、地域の獣医師(八戸市学校獣医師)と連携したネットワークの構築を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校において学校獣医師による、ふれあい指導と適正飼育管理指導を実施した。</li> <li>・ 学校飼育動物ネットワーク研修講座を開催した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校及び学校獣医師から提出された報告書や感想から、児童に生物愛護の態度等や「命」を大切にしようとする心が育まれていることがうかがえる。</li> <li>・ 各校の動物飼育環境が衛生的に保たれている。</li> <li>・ 獣医師会との協力により室内での小動物の飼育(モルモット)の実践校が増えた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.12	いのちを育む教育アドバイザー事業			
取組概要	生徒が自己の性に対する認識をより確かなものにするための性に関する専門的な指導を行い、性にかかわる諸問題に対して適切に判断し対処できる資質や能力の育成を支援します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校で、アドバイザー（医師）による性に関する講演会を実施した。</li> <li>・沐浴実習を実施した（2校）</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校及び各いのちを育む教育アドバイザーから提出された報告書や感想、アンケートから、生徒の性に対する正しい理解だけでなく、自他の性を尊重する態度や「命」を大切にする意識の高揚など、生徒の変容をより客観的に把握することができた。</li> <li>・道徳の他教科との関連も図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	③ 健康に関する指導の充実

所管課：学校教育課・教育指導課

取組	No.16	「新体力テスト」の結果の活用			
取組概要	平成11年度から文部科学省が導入した「新体力テスト」を実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、指導の計画・方法・形態等を見直し、運動能力の向上を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の小・中学校全学年の結果を集計するとともに、学年ごとの平均値を「八戸市児童生徒の健康と体力」に掲載し周知した。</li> <li>集計結果を活用し、児童生徒に自分の体力を理解させるとともに、授業において各種運動に取り組んだ。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、市内平均値をもとに課題を明らかにするとともに、課題解決のために、教育課程の編成や授業の改善に活かすなど各学校での取組の充実が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：学校教育課

取組	No.17	栄養教諭・学校栄養職員の活用			
取組概要	学校における食育の推進に中核的な役割を担う栄養教諭や、学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる学校栄養職員を活用した食に関する指導の充実を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭・学校栄養職員を活用した授業を68校中45校（66.1%）の学校が行った。</li> <li>「スポーツと食事」「食事のマナー」「お弁当のおかず」など児童生徒に身近な内容の学習が行われた。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観日等を活用して、児童生徒のほか、保護者や地域に対して啓発を図るなど、活用数は増加した。</li> <li>食に関する指導の充実が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育指導課・総合教育センター

取組	No.19	学校図書館を利活用した教育の充実			
取組概要	児童生徒の読書活動を充実させるため、各小・中学校の蔵書数の増加を図るとともに、学校図書館ネットワークを活用して、データベース化した蔵書を学校間等で相互貸借するなど、図書資料の有効活用に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校図書館用図書購入費の執行率 99.5%</li> <li>・ 小学校図書充足率 100% 中学校図書充足率 81.4%</li> <li>・ 小・中学校及び総合教育センターの蔵書数 約530,000冊</li> <li>・ ネットワークを利用した学校間の図書の貸借冊数 339冊</li> <li>・ 学校訪問を通して小・中学校の図書室の状況を把握し、学校図書館担当者会議等において、学校図書館の有効な活用方法について指導・助言を行った。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度も、各学校の図書室にある蔵書のデータベース化を進め、図書ネットワークシステムで結んだ学校間の図書の相互貸借を図った。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：学校教育課

取組	No.21	新学校給食センター建設事業			
取組概要	老朽化した西地区給食センターに代えて、衛生管理が行き届き、十分な調理機能を備えた給食センターを建設します。市内の児童生徒数及び既存給食センターの状況を踏まえ、10,000食/日程度の調理規模を目安とした施設とします。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期工事[平成27年度からの繰越分]の完了（建物）前期工事の完了（外構）</li> <li>・ センター内に体験型の食育スペース整備</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29年2月末に建物工事を完了し、平成29年4月からの供給に向けて準備した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑤ 国際理解教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.25	青少年派遣交流事業			
取組概要	青少年(中学生)を海外へ派遣し、訪問国の歴史、文化、教育等の視察や青少年との交流を行います。また、海外からの青少年交流団の受け入れ、諸外国の伝統・文化等に対する理解を深める教育を推進します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内中学校から参加し、中国(蘭州市)へ派遣した。(24人)</li> <li>訪問国の歴史、文化、教育等の視察や、学校訪問、ホームステイを通して青少年との交流を実施した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭へのホームステイを通じて、直に海外の生活、文化に触れることで、より国際理解が深まった。</li> <li>全体の報告会や各学校の文化祭等で交流の様子や学んだことについて、プレゼンテーションソフトを使用するなど、工夫を凝らして発表した。</li> <li>事前研修や報告会に向けての取組により生徒同士の交流も深められた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑥ 情報教育の推進

所管課：総合教育センター

取組	No.28	教職員の ICT 活用指導力の育成				
取組概要	教員の ICT 活用指導能力の向上を図り、ICTを活用した確かな学力の育成と、教育活動の質の向上を目指します。					
実施状況	・学校訪問等で、校務や授業でのICT活用推進の支援を行った。					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	○	○	○	○		
評価理由	・平成28年度に実施した「平成27年度教職員のICT活用指導力の状況調査」では、調査5項目全てにおいて活用状況の向上が見られた。 <調査結果>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	
		調 査 項 目	H26年度	H27年度		増減
	1	教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用できる	81.9%	84.4%		+2.5%
	2	授業中にICTを活用して指導できる	74.3%	77.7%		+3.4%
	3	児童生徒のICT活用を指導できる	62.5%	66.6%		+4.1%
	4	情報モラルなどを指導できる	72.8%	76.6%		+3.8%
	5	校務にICTを活用できる	80.3%	80.9%		+0.6%

所管課：総合教育センター

取組	No.29	情報モラル指導の充実			
取組概要	個人情報の保護・人権侵害・著作権等に対する対応、危険回避やネットワーク上のルール・マナーなど、情報社会で適正な活動を行うためのもとなる考え方と態度(情報モラル)の指導の充実を図ります。				
実施状況	・情報モラル研修講座を開催した。(参加者63名) ・教科等研究委員(情報モラル)の実践を発表会及び情報モラル研修講座で発表した。 ・学校訪問等で、各教科等における情報モラル教育の指導の充実に向けた支援・指導を行った。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	・参加者の満足度は、「①理解しやすい内容であったか」「②自分の課題解決のきっかけになる内容であったか」「③今後の実践に役立つ内容であったか」のいずれも95%と極めて高かった。参加した教職員の普段の授業における実践的な活用が期待される。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：学校教育課

取組	No.31	私立高等学校助成補助金			
取組概要	市内の私立高等学校・私立中高一貫校に対して、教材・教育備品の整備及び施設・設備の整備等に要する費用を助成し、高等学校教育の振興と充実を図ります。				
実施状況	・ 交付申請のあった6校に対し、2,978,200円を交付した。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	・ 昭和46年度から市単独事業として実施し、教育環境の整備・充実が図られ、本市の私立高等学校・私立中高一貫校の教育の振興に役立っている。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ－４－① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：社会教育課・是川縄文館・博物館

取組	No.35	史跡等環境整備事業			
取組概要	史跡の公開・活用を図るため、市内にある長七谷地貝塚、是川石器時代遺跡、丹後平古墳群、根城跡の4史跡の環境整備に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長七谷地貝塚、丹後平古墳群、是川石器時代遺跡、根城跡の史跡内公有地の草刈等清掃を実施した。</li> <li>・史跡根城跡の今後の適切な保存活用に資するため、「史跡根城跡保存管理計画」の見直しを実施した。</li> <li>・台風で破損した史跡根城跡の板塀・柴垣・主殿土壁・中館四阿下屋を修理した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理作業や、施設・設備の修繕を計画通り実施し、各史跡の保護・景観維持が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：博物館

取組	No.36	史跡根城の広場の活用事業			
取組概要	中世の城郭である史跡根城跡を紹介するとともに、復原・整備された史跡を活用して、「根城おもしろ講座」など各種事業の開催に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根城おもしろ講座10回開催(講演会3回 体験講座7回) 参加者 276人</li> <li>・特別企画「端午の節句～鎧を着よう」 参加者 383人</li> <li>・ものづくり体験工房(40回開催) 参加者 165人</li> <li>・史跡根城まつり 入場者 1,170人</li> <li>・史跡根城さくらまつり 入場者 1,082人</li> <li>・史跡根城えんぶり撮影会 入場者 682人</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月開催の「史跡根城まつり」(会場:野外)が雨天により入場者減となった。</li> <li>・各種講座や特別企画、撮影会は前年度以上の参加者・入場者数となった。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ－４－① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：社会教育課

取組	No.37	名勝種差海岸の保護管理事業			
取組概要	名勝種差海岸を適切に保存管理するため、パトロールによる監視、増殖が問題となる植物の駆除、周知看板の設置などを行い、美しい景観の保護に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回パトロール173回実施</li> <li>・ボランティアによる外来植物駆除6回実施</li> <li>・注意看板1基を設置</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名勝種差海岸の適切な管理と景観の保護が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業			
取組概要	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」を適切に保存管理するため、ウミネコ飛来時期における保護監視に加え、草刈りと清掃作業による環境整備を行い、繁殖環境の保護に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間体制の監視を4月1日から8月8日の期間実施</li> <li>・草刈り清掃を11日間実施</li> <li>・外来植物駆除を3日間実施</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年とおりの営巣数約15,000箇所が確認され、天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」の適切な保護が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：博物館

取組	No.39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業				
取組概要	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存管理をするために、地元保存会による浜小屋のいぶしや学芸員による資料点検などの管理保全に努めながら、さらに紹介リーフレットを作成し周知に努めます。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜小屋いぶし</li> <li>・ 資料の点検</li> <li>・ 浜小屋紹介リーフレットの配付</li> </ul>					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	○	○	○	○		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収蔵資料の点検を実施し、現在の状態を把握できた。</li> <li>・ 児童、生徒にわかりやすい内容のリーフレットを配付し周知に努めた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	



方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	② 埋蔵文化財の記録保存

所管課：是川縄文館

取組	No.40	八戸市内遺跡発掘調査事業			
取組概要	遺跡は各種開発によって無くなってしまいうため、工事の着工前に発掘調査及び試掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を図るとともに、その成果の公開に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一王寺(1)遺跡・八戸城跡・田面木遺跡など59件の発掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を行った。</li> <li>一王寺(1)遺跡・田面木遺跡の現地説明会を実施し、調査現場を公開した。</li> <li>遺跡調査報告会を実施し、平成28年度の調査成果を市民に公開した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査及び報告書作成が円滑かつ適正に実施され、埋蔵文化財の記録保存が図られた。</li> <li>現地説明会及び遺跡調査報告会の参加者は、合わせて152人の参加があり、埋蔵文化財に対する市民の理解促進に一定の効果があったと考えられる。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.42	「民俗芸能の夕べ」開催事業			
取組概要	伝統的な民俗芸能の活性化と市民への周知を図るため、市内の民俗芸能団体に発表の機会を提供するとともに、市民への公開を行っています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第39回民俗芸能の夕べ」を開催</li> <li>・出演団体 4団体</li> <li>・観客数 385人</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能団体に発表の場を提供することにより、民俗芸能の伝承を図ることができた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.43	郷土芸能ビデオライブラリー事業			
取組概要	地域に残る伝統芸能の保存と伝承のため、各団体の演舞や活動内容を撮影し、デジタル映像として記録保存します。また、過去に撮影・保管している古い映像等のデジタル化と編集を行い、貸し出し・公開等により市民へ還元します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に撮影した映像のデジタル化と編集 白銀四頭権現神楽ほか16本</li> <li>・未撮影団体及び撮影済団体の現況撮影 芸能16団体・三社大祭計25回撮影</li> <li>・映像資料の貸し出し</li> <li>・ホームページの整備</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル保存化作業が計画どおり進んだ。</li> <li>・デジタル化により古い貴重なテープ映像を劣化から守るとともに、伝統芸能継承のための資料としての記録保存が図られた。</li> <li>・未撮影団体の撮影が進んだ。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	④ 有形文化財の保存・管理

所管課：社会教育課

取組	No.45	指定文化財管理事業			
取組概要	文化財をより良い形で後世に引き継ぐため、主に建造物などの有形文化財に対し、補修などに要する経費の一部を補助します。				
実施状況	・国重要有形文化財である「清水寺観音堂」の防災設備保守点検経費に補助金を交付した。 交付実績 19,000円				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	・防災設備の機能維持により、建造物の保存に貢献。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：社会教育課

取組	No.46	先人周知事業			
取組概要	郷土の歴史と文化に対する市民の理解を深めるため、先人の功績をまとめたパネルを制作し、その公開に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先人パネル5枚制作(先人名：小出義雄、佐藤真弘、出町嘉明、寺下岩蔵、中村拓道)</li> <li>・パネル展1回開催</li> <li>・八戸市ホームページによる一部公開 新規公開5名分</li> <li>・外部への貸し出し 2件 (14名分)</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市の発展に貢献した先人の功績を知る機会を提供したことにより、市民の歴史と文化に対する理解が深まることに貢献した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.47	史跡等標示事業			
取組概要	歴史的由緒のある地名・場所などを後世に伝えるため、その概要を記した標柱や説明板を設置し、市民に広く周知します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下大工町」の標柱を設置</li> <li>・「常海町」「柏崎新丁」「札の辻」の標柱を修繕</li> <li>・既存施設の道路占用及び土地使用貸借契約期間の更新</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的由緒ある地名・場所などを後世に伝えることで、市民の郷土の歴史と文化に対する理解が深まることに貢献した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：是川縄文館・博物館

取組	No.50	研究紀要の発行			
取組概要	八戸市の埋蔵文化財を中心に、考古学・自然科学・保存科学等の諸分野から、年度毎に調査研究の成果を公表します。また、共同研究事業の年次成果をあわせて公表し、埋蔵文化財の保存と活用、普及啓発に役立てます				
実施状況	<是川縄文館> ・研究紀要第6号刊行（平成29年3月31日、モノクロ、30頁、300部） ・論文3報収録 <博物館> ・研究紀要第30号刊行（平成29年3月31日、モノクロ、31頁、300部） ・論文2報収録				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	・共同研究事業の年次報告および研究成果の一部を掲載し、八戸地域の古景観を復元する上で有用なデータを公表することができた。 ・国宝・合掌土偶の分析結果を公表し、資料を理解する上で有用なデータを公表することができた。 ・史跡根城跡・本丸復元主殿、及び八戸藩士・築田平治についての研究を、研究紀要で広く公開し、郷土の文化の理解を深めるように努めた。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：是川縄文館・博物館

取組	No.51	収蔵資料の活用			
取組概要	是川縄文館・博物館及び南郷歴史民俗資料館の収蔵資料や写真を、他館の展示や学校、福祉施設等へ貸し出し、資料の活用に努めます。				
実施状況	・貸出等に迅速に対応するため、収蔵資料の再整理を実施した。 ・貸出件数 <是川縄文館> 195件 <博物館> 73件      <南郷歴史民俗資料館> 26件				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	・収蔵資料の再整理により各種活用への迅速な対応が可能となった。 ・映像資料・実物資料・写真等の貸出により、資料の活用が図られた。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	① 児童生徒の就学支援と教育相談の充実

所管課：学校教育課

取組	No.52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和			
取組概要	災害時の特別の理由により、八戸市奨学金の返済が困難になった人が猶予申請した場合、返済を猶予します。また、一般奨学金の申請要件である家計基準について、災害等の特別の理由により家計が急変した人に対して要件を緩和します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金の返済猶予について、随時、相談を受付。 (平成23年度に1件申請あり。平成24年度以降申請なし。)</li> <li>平成23年度に申請要件を緩和して奨学金の募集を行ったが、申請がなかったため、23年度以降は通常の要件で募集を行っている。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金の返済猶予申請の受付を随時行っており、申請があり次第、対応する体制をとっている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標５ 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	② 教育施設の避難所機能の充実

所管課：教育総務課

取組	No.55	小・中学校における避難所機能の整備			
取組概要	指定避難所に指定されている小・中学校への蓄電機能付き太陽光発電設備の設置や体育館の高所照明器具等の落下防止対策など、非構造部材の耐震化を進め、避難所機能の強化を図ります。				
実施状況	○再生可能エネルギー導入推進事業（平成27年度完了） ・蓄電機能付き太陽光発電設備設置 ・太陽光発電型LED街路灯設置  ○体育館の照明器具等の落下防止対策工事 16校				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	・落下防止対策工事について計画どおり実施し、全小・中学校対応した。 （28年度で完了）				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	① 学校・家庭・地域の連携の推進

所管課：教育指導課

取組	No.58	さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)			
取組概要	「地域の子どもは地域ではぐくむ」という視点で、学校・家庭・地域社会が連携し、中学校2年生を対象として、地域の事業所における3～5日間の職場体験活動を通して、望ましい勤労観及び職業観を育成します。				
実施状況	・中学校2年生を対象に、地域の事業所で職場体験を行った。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の一環として取り組むことができた。</li> <li>・各学校の事後アンケート結果から、望ましい勤労観及び職業観とともに、自己有用感（自分は役立っているという気持ち）の高揚が見られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	② 教育資源の多様な活用

所管課：社会教育課

取組	No.59	教育支援ボランティア推進事業			
取組概要	優れた知識や技能を有し、かつ、学校および地域の教育活動に携わるに相応しい熱意と見識を有する人材を登録する人材バンクを開設し、その人材を市内の小・中学校および社会教育施設など地域における教育活動に活用します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校へ教育支援ボランティアを派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科指導補助 4件</li> <li>② 特別支援 3件 計 7件</li> </ul> </li> <li>・人材バンク登録者数（H29.3.31現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>個人 17人</li> <li>団体 4団体</li> </ul> </li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が独自に探し出す地域のボランティアだけでは対応できないニーズに応えることができたが、学校が希望する分野とボランティア希望者が対応可能な分野が合致しないケースも見られ、派遣件数は減少した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	① 社会教育施設等の整備・充実

所管課：図書館

取組	No.62	図書館施設の整備			
取組概要	施設・設備の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えており、計画的な改修等の実施により、市民に安全で快適な利用環境を提供します。				
実施状況	・1階タイルカーペット張替修繕、2階閲覧机用椅子座面張替修繕、平中駐車場車止め取替修繕、南郷図書館空調室外機修繕等を実施した。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に安全で快適な環境の中で、読書や調査研究をしてもらうため、年次計画どおりに実施した。</li> <li>・突発的な修繕にも対応した。</li> <li>・利用者サービスに影響しないよう、主に休館日を利用して実施した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	① 青少年の健全育成活動の推進

所管課：教育指導課

取組	No.64	少年相談センター活動			
取組概要	青少年を非行から守るため、街頭指導、少年指導研修会、少年相談、社会環境調査のほか、広報紙「かがみ」の発行を行います。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭指導等を行った。 (街頭指導262回、研修会2回、相談件数48件、社会環境調査随時)</li> <li>・広報紙を発行した。 (年3回 各回24,500部)</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画(目標)に基づいて街頭指導及び相談活動等を行い、青少年の健全育成に努めた。</li> <li>・指導員研修会では、施設訪問等を行い、指導員の見識を深めた。</li> <li>・電話相談や来所相談を通して、悩みや問題の解決が図られた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	② 青少年の交流の推進

所管課：教育指導課

取組	No.65	南部藩ゆかりの都市との交流事業			
取組概要	岩手県遠野市等との交流を通して、ふるさとを愛する心をはぐくみ、児童の健全育成を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校6年生を対象に、岩手県遠野市・紫波町への少年使節団派遣及び遠野市少年使節団の受け入れを行った。(今年度は30回目、児童累計1,319人)</li> </ul> <p>派遣 八戸市立小学校6年生41人(各校1人)を遠野市と紫波町に派遣 遠野市児童26人と交流</p> <p>受入 遠野市立小学校6年生26人を八戸市に受け入れ</p>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の感想文集「南部のぬくもり」を見ると、「八戸と遠野の深いつながりを知り、交流が続けられるとよいと思う」、「八戸のことを知り、誇りに思った」「八戸市の伝統を守る大人になりたい」等が書かれており、ふるさとを愛する心の醸成につながった。</li> <li>・ 学校に戻ってからの派遣児童の生活や活動に交流の体験が生かされ、保護者・学校からは、「研修後の成長が認められる」との声が寄せられた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.66	青少年派遣交流事業(再掲)			
取組概要	青少年(中学生)を海外へ派遣し、訪問国の歴史、文化、教育等の視察や青少年との交流を行います。また、海外からの青少年交流団の受け入れ、諸外国の伝統・文化等に対する理解を深める教育を推進します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内中学校から参加し、中国(蘭州市)へ派遣した。(24人)</li> <li>・ 訪問国の歴史、文化、教育等の視察や、学校訪問、ホームステイを通して青少年との交流を実施した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般家庭へのホームステイを通じて、直に海外の生活、文化に触れることで、より国際理解が深まった。</li> <li>・ 全体の報告会や各学校の文化祭等で交流の様子や学んだことについて、プレゼンテーションソフトを使用するなど、工夫を凝らして発表した。</li> <li>・ 事前研修や報告会に向けての取組により生徒同士の交流も深められた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	③ 青少年の地域活動の推進

所管課：教育指導課

取組	No.67	青少年の地域活動の推進事業				
取組概要	中学生や高校生がボランティア活動でのさまざまな体験活動を通じ、青少年が地域社会の一員として自覚をもち、地域への関心を深めるよう努めるとともに、健全な仲間づくりを進めます。また、障がいのある児童生徒との交流を通してお互いの理解を深め、仲間意識を形成していくように努めます。					
実施状況	・各地区公民館、養護学校、各種イベントへ中高生ボランティアを派遣し活動した。 (活動者延べ 2,014人)					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	◎	○	○	◎		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア登録校の増加及びボランティア依頼件数の増加により、数年ぶりに活動者が2,000人台を突破し、計画以上に目標を達成することができた。</li> <li>・ 感想文集には、「ボランティア活動したことで将来へのヒントを得ることができた。」「地域の方々とふれあいが自分を成長させてくれた。」という声が多く上がっており、ボランティア活動の大切さを学ぶとともに、本人の成長につながっている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課

取組	No.69	放送大学支援事業			
取組概要	生涯学習振興のため、放送大学学園が当市に設置する放送大学八戸サテライトスペースの運営を支援しています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸地域地場産業振興センター4階の八戸サテライトスペース賃借料の半額を負担した。</li> <li>・八戸サテライトスペースにおける補助職員2人を雇用した。</li> <li>・「広報はちのへ」に学生募集記事を掲載した。(年2回)</li> <li>・(1・2期) 入学者 172人 (男 64人/女 108人)</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内へのポスター掲示、チラシ設置、市民大学講座受講者へリーフレット配布などPR面でも協力した。</li> <li>・様々な年代の方が受講しており、幅広い世代に学習機会が提供されている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.70	公民館講座の開催			
取組概要	市内各地区公民館において各種講座(公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館、市民IT講習会)を開催し、多様な生涯学習の機会を提供します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座開催実績</li> <li>講座回数：2,232回 学習時間：5,210時間 参加人数：42,639人</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の講座数や参加人数は減っているが、各館において土・日曜日や夜間の講座を開催するなど、公民館利用者の学習機会の拡充に努めた。</li> <li>・趣味の講座だけではなく、八戸の伝統芸能を習う講座や実生活に役立つ講座など、多様な講座の開催に努めた。</li> <li>・乳幼児を持つ母親、児童、青年、主婦、高齢者などを対象とした各種講座を実施しており、幅広い年代への多様な学習機会の提供に努めた。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課・総合教育センター

取組	No.71	ICT 講習会の開催			
取組概要	各地区公民館において「市民 IT 講習会」、総合教育センターにおいて「市民パソコン教室」を開催し、市民がパソコンやインターネットの使い方について学習する機会を提供します。				
実施状況	<総合教育センター> ・市民パソコン教室を3回実施した。(各回2日間・40人定員) 参加人数：46人				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	・パソコンの基礎から活用法まで、市民のニーズに合わせた講座を開催した。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：総合教育センター

取組	No.73	児童科学館各種体験活動			
取組概要	児童科学館にある設備や教育メディアを活用した体験活動の充実に努め、青少年の「科学する心」をはぐくみます。また、家庭の教育力の充実を図るために、視聴覚ライブラリーの映像利用や、講師を招いた学習会を開催します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度から指定管理者へ移行しており、第二期5年目の運営を行った。</li> <li>わくわくサイエンス、市民星空観望会等、13種類の体験教室を開催し、延べ日数219日、延べ参加人数29,140人だった。</li> <li>視聴覚ライブラリー教材の貸出数は、16ミリ映画68件、ビデオ238件、DVD726件だった。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加募集に関して広くマスコミを活用するなどして、参加者の確保に努めた。</li> <li>三戸郡の町村と共同で教育メディア利用促進に努めたことにより、中学校の利用件数が増加した。</li> <li>少年少女発明クラブや視聴覚教材を活用したお楽しみ劇場等、魅力ある体験教室づくりに向けて、体験活動の機会を豊富に提供して取り組んだ。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：総合教育センター

取組	No.74	「青少年のための科学の祭典」			
取組概要	児童科学館事業及び「青少年のための科学の祭典」事業を通して、幼児児童生徒の「科学する心」の育成と保護者、市民への啓発を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年から開始、今年で21回目の実施。</li> <li>来場者は4,393人。</li> <li>協力した演示講師及び中・高生のボランティア数は、延べ529人。</li> <li>57のサイエンスショーや工作ブースを展開し、来場した子どもたちに実験・体験する機会を提供した。</li> <li>小中学校・高等学校の教員、大学職員、企業の方、市民団体の方々にブース展開を行い、協力した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>事後アンケートでは、「とても楽しかった」という回答が68%（「とても楽しかった」と「楽しかった」を合わせると78%）</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止



方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：図書館

取組	No.76	「調べる学習コンクール」の開催			
取組概要	子どもたちの調べる力向上の一助となり、図書館の利用促進につながるよう、児童生徒を対象に、図書館の資料を使った調べる学習コンクールを開催します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第6回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」作品募集 9月1日～10月2日</li> <li>・応募数 49点(小学生45点、中学生4点)</li> <li>・審査結果 小学生：最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞2点、佳作4点 中学生：優良賞1点</li> <li>・全国コンクールへ小学生の表彰作品を2点推薦し、2点とも入賞した（観光庁長官賞1点、優良賞1点）。</li> <li>・夏休みの期間内に27年度入賞作品（全国・市内）の複製を、また表彰式終了後に28年度の入賞作品（市内）の複製を、1階カウンター前で展示した。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクール実施にあたり、「調べる学習チャレンジ講座」を1回、「夏休み調べる学習相談会」を4回開催し、図書館の資料をはじめ、様々な情報を活用することのおもしろさを実感してもらった。</li> <li>・継続して調べる学習に取り組む児童が増え、コンクール全体のレベルアップにつながっている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：図書館

取組	No.77	「市史講座」の開催			
取組概要	刊行された市史をもとに、主に市史の執筆者を講師として招き、八戸の歴史について講座を開設します。講座を通して、八戸の歴史に対する市民の興味・関心を高めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数 8回</li> <li>・参加者数 延べ222人</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外市内散策を行う「ふるさとてくてく旅」を4回行い、予定人数（各講座20人程度）を超えるほどの申込みがあった。雨天での開催もあったが、リピーターも多く、参加者からはおおむね好評だった。</li> <li>・『概説 八戸三社大祭』発行記念の講座として開催しており、講座日（4回）の販売数は26冊だった（28年度合計では161冊）。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：博物館

取組	No.80	博物館資料の収集・公開			
取組概要	「新収蔵資料展」を開催するとともに、資料の保存管理に努める。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新収蔵資料展」を開催し、平成27年度に収集した25件1,398点の資料の一部を紹介した。 入館者数 計 1,733人</li> <li>・新収蔵資料を整理し、適切に保存管理を行った。</li> </ul>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新収蔵資料展」を開催し、新たな収集資料を公開した。</li> <li>・新収蔵資料を整理し、適切な保存管理をしている。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

### Ⅲ 参考資料

#### 1 教育委員会の活動状況

(1) 委員選任状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

職名	氏名	任期	委員就任年月日
委員長	武輪 節子	平成 28 年 10 月 1 日～ 平成 32 年 9 月 30 日	平成 28 年 10 月 1 日
委員長職務代行者	築瀬 眞知雄	平成 26 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日	平成 26 年 10 月 1 日
委員	大庭 文武	平成 25 年 10 月 1 日～ 平成 29 年 9 月 30 日	平成 25 年 10 月 1 日
委員	油川 育子	平成 27 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 9 月 30 日	平成 27 年 10 月 1 日
教育長	伊藤 博章	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	平成 25 年 4 月 1 日

(2) 会議の開催状況

会議は、毎月定例会を行い、急施を要する場合に臨時会を開催している。平成 28 年度は合計 54 件の議案を審議した。

定例会	12 回
臨時会	11 回

議案内容	
条例規則制定関係	22 件
人事関係（委員委嘱含む）	16 件
文化財指定関係	1 件
工事関係	5 件
その他	10 件
合計	54 件

(3) その他の活動状況

教育委員会に関わる会議、研修会、式典に出席し、委員として活動した。

種別	主な内容	回数
会議	市立学校長会議、青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会等	7 回
研修会	市町村教育委員会委員研修会、定例研修会等	12 回
式典	各小・中・高等学校記念式典、卒業証書授与式、各種関係団体式典、成人式等	29 回
学校訪問	学校訪問	28 回
その他	教育委員会関連行事、各種視察等	26 回

このほか、教育行政の運営に関する基本方針や教育費予算等を協議案件として、適宜、会議を開催しており、事務局との意見交換や質疑応答、委員間での協議を行った。

さらに、各委員においては、各種団体との意見交換等に参加することとともに、随時、教育施設を訪問した。